

平成24年度 業務実績報告書

平成25年6月



地方独立行政法人

岐阜県立多治見病院

I 法人の概要

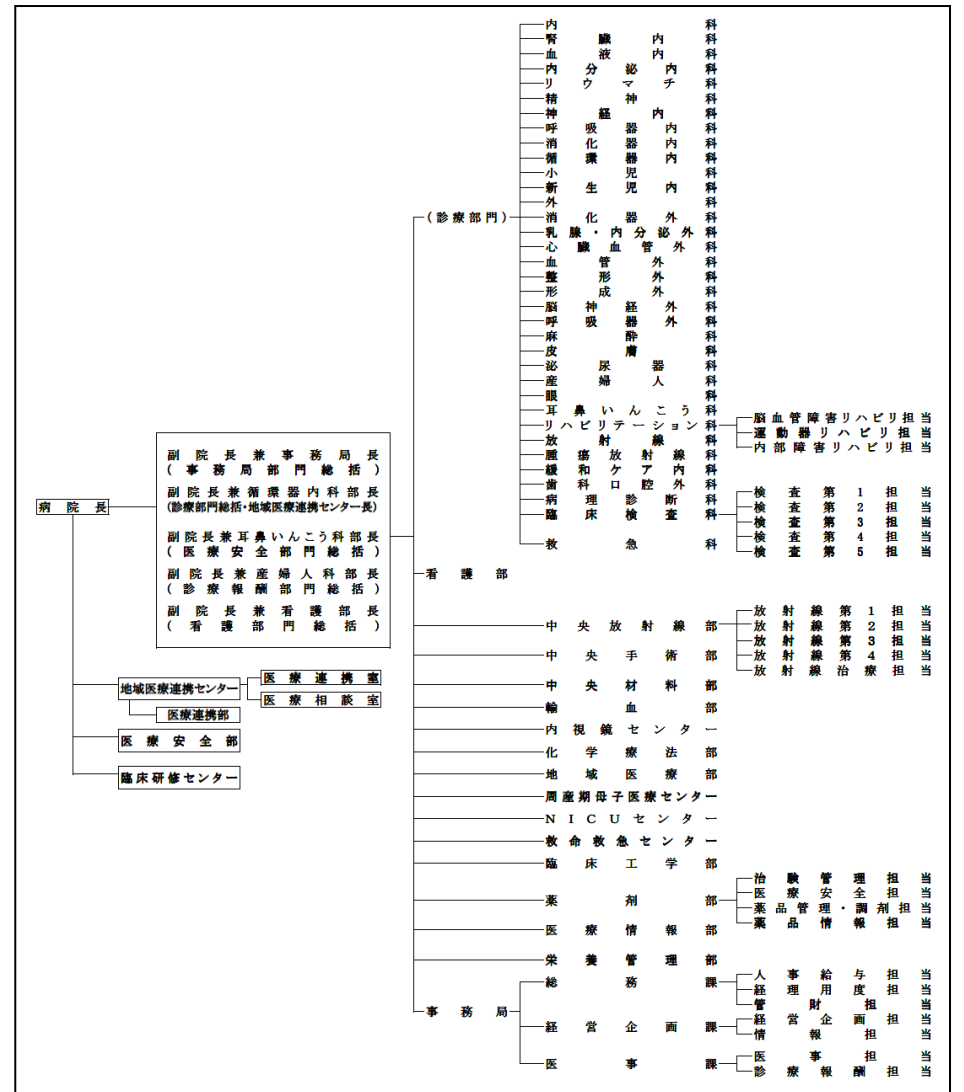
1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 多治見市前火町5丁目161番地
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員の状況

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
理事長	原田 明生	院長	理事	鈴木 藏	陶芸家 重要無形文化財保持者
副理事長	岩田 敏雄	副院長(事務局長)	理事	加藤 智子	ヤマカガキ代表取締役
理事	横井 清	副院長	監事	小島 浩一	弁護士
理事	上田 幸夫	副院長	監事	下條 俊幸	公認会計士
理事	糸川 邦子	副院長(看護部長)			

(5) 組織図

平成24年4月1日現在



(6) 職員数（平成24年4月1日現在） 936人

職 種	医師（歯科医師含）	看護師 (准看護師、看護士含)	コメディカル	事務ほか	合 計
常 勤	112人	466人	124人	47人	749人
非常勤	20人	97人	16人	54人	187人
合 計	132人	563人	140人	101人	936人

2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

岐阜県立多治見病院においては、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上、住民の健康と福祉の増進に取り組んできた。

しかし、少子・高齢化の進展、医療技術の高度化・専門化、疾病構造の変化、医療需要の高度化・多様化などにより、近年の医療を取り巻く環境は大きく変化している。

特に、産科・小児科の医師不足、手厚い看護体制の導入に起因する看護師不足、診療報酬のマイナス改定等、医療、病院経営を取り巻く状況は一段と厳しさを増している。

一方、県民の健康への関心はきわめて高く、今後、これまで以上に、質の高い医療サービスを求められることが十分に予想される。

これからも、岐阜県立多治見病院として、このような、医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応し、県民が必要とする医療をより良くかつ継続的に提供することができるように、地方独立行政法人に移行することとし、この中期目標において、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院の業務運営の目標や方向性を示すこととする。

地方独立行政法人化後は、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かした、自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、東濃地域の医療の最後の砦として地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

3 設置する病院の概要

- (1) 病院名称 岐阜県立多治見病院
診療科: 35科
- (2) 所在地 多治見市前畑町5丁目161番地
- (3) 沿革

年	月	概 要
昭和14年	5月	県立多治見病院開設→診療開始 昭和14年9月8日
昭和33年	10月	医療法による「総合病院」の指定
昭和43年	2月	岐阜県知事から「救急病院」の指定
昭和59年	2月	診療本館（現 中央診療棟）完成
昭和63年	12月	MR I 棟完成
平成 2年	10月	新東病棟（現 東病棟）完成
平成14年	3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定取得
平成18年	1月	電子カルテシステム導入
平成20年	9月	DMERC（ドクターカー）運用開始
平成22年	3月	中・西病棟完成
〃	4月	地方独立行政法人に移行
〃	6月	緩和ケア病棟20床開設
平成24年	1月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver.6.0)の認定取得
〃	5月	精神科病棟46床開設（再開）
〃	12月	高精度放射線治療センター完成

(4) その他

①基本理念

安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。

②行動指針

- ・分かりやすい言葉で、分かりやすく説明します
- ・安全を何度も確認することを怠りません
- ・常に高度先進医療を取り入れ、最新・最高の医療を目指し自己研鑽に努めます
- ・倫理観に基づく医療人としての誇りと自覚をもって取り組みます
- ・健全経営に努めます

II 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組の状況

1-1 診療事業

東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関等との役割分担・連携のもと、地域の限られた医療資源を有効活用し、良質かつ高度な医療を提供できるよう必要な職員の確保、職員のスキルアップ支援、院内研修の実施、高度医療機器の整備、診療効率アップ及び患者目線に立ったサービス向上のための施設整備等の取り組みを行った。

地域がん診療連携拠点病院としての責任を果たし、地域から期待されるがん治療の推進に力を入れることを目的として、がんの放射線治療レベルを向上させ、患者負担を軽減できる高精度放射線治療装置を導入した。平成25年度中の本格稼働に向けて照射量や減速などのデータ収集を行うとともに医師、放射線技師の確保・育成、放射線業務体制の見直し（二交代制の導入）や地域医療従事者等へのPR活動を行った。

患者・住民サービスの向上については、正面玄関ロビーの改修及び案内サインの見直し、案内係であるコンシェルジュの増員、新型の自動支払機の導入、会計表示盤のプログラム改修等の取り組みにより、診療や会計待ちに関するストレスの解消を図った。また、患者に対する満足度・待ち時間調査を実施し、患者ニーズの把握に努めるとともに病院運営協議会を開催し、地元住民の要望・意見収集にも取り組んだ。その他、患者相談窓口を充実させ、その内容に基づく患者サポートカンファレンスの実施及び診療に反映させる仕組みの構築等、ソフト・ハードの両面から整備を行った。

精神科病棟の開設に必要な医師を5名確保し、平成24年5月から精神科病棟を再開することができた。身体合併症を併発した精神科患者の治療を積極的に行った。（5,400名の患者が利用した。）

こうした取り組みにより、前年度と比較して入院患者数は3.2%、外来患者数は2.6%の増加となり、それに伴い病床利用率も2.7%の伸びとなっている。

1-2 調査研究事業

提供する医療の質及び地域の医療水準の向上等を図るため、調査研究事業に積極的に取り組んだ。年間の治験・倫理委員会申請件数は27件（迅速審査を含む）で前年度の14件に比較し92.9%の伸びとなっている。

地域医療機関や地域住民に対しては、病院が保有する保健医療情報を広く公開するため、市民公開講座の開催及び広報誌「けんびょういん」の発行などを行った。さらに医師が講師となり、循環器疾患をテーマとした「出前講座」を地域の会合とタイアップし、多治見市内7ヶ所で開催した。（出前講座の合計聴講者数 233名）

1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者を養成するため最新の医療技術や知識を習得できるよう国内外の学会や講習会への参加に必要な費用を負担し支援した。

研修医を対象とした内科症例検討会、各診療科部長による講義、早朝勉強会を定期的に開催した。特に内科症例検討会では、研修医自らが症例提示を行うなど、より実践的な形式を採用し内容の充実を図った。

後期研修一年目の研修医に対しては、希望する複数の診療科にて研修を行えるように体制を整え、各診療科での専門領域の疾患の診断・治療はもとより、研究会や学会参加、学会発表の支援を行った。

また、医学部生、看護学生等の実習生を積極的に受け入れ、医療従事者の育成に努めた。同時に救急救命士に対する病院実習も積極的に実施し、医療技術の向上を支援した。

1-4 地域支援事業

地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携を強化し、医療機関相互の役割を明確化することにより、それぞれの特色を生かした医療資源の有効活用、地域完結型医療を目指した。医師会長をはじめとした医療関係団体の代表者、関係行政機関代表者、学識経験者で構成する地域医療連携推進協議会を4回開催し、協議会を通じて地域医療連携パスの推進や、高度医療機器の共同利用等の推進を働きかけた。その結果、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができた。（紹介率62.6%、逆紹介率82.8%）

地域全体の医療水準の向上を目的に、医師、看護師をはじめとした医療従事者を対象に各種講演会、研修会、勉強会、症例検討会等を開催した。また、次世代の地域医療の担い手育成のため、多治見看護専門学校、中京学院大学等に医師、認定看護師等を講師として派遣した。

医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への人的支援として、国民健康保険上矢作病院、国民健康保険蛭川診療所へ医師を派遣した。

1-5 災害等発生時における医療救護

災害拠点病院（平成23年10月に指定）として、地震、火災、津波、テロなどの大規模災害発生時等に、病院機能を維持し、東濃西部地域での初期救急の中心となって活動できるよう、必要な施設、機材の整備確保、災害時資器材展開訓練の実施、DMAT隊員の増員、DMATの質の向上・維持のため、厚生労働省、中部地区、岐阜県の開催する訓練に参加等、ハード・ソフトの両面から整備を行った。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組の状況

医療環境の変化や住民の医療需要に的確に対応できるよう、経営分析や予測、各種広報の展開など、経営基盤の強化を図った。また、院内に点在していた地域医療連携センターの執務室を1箇所へ統合し、より一層の地域医療連携強化に取り組める体制を整えた。

DPC環境下における病院収益向上を目指し、医事課内に「診療報酬担当」を新設した。レセプトチェックシステム、DPCコーディング検証に取り組み、診療報酬請求の的確化と効率的な事務の推進による収益向上を図った。

平成23年度から病院経営に関するコンサルティングを専門の業者へ委託している。経営コンサルティング業者の助言を受けながら、契約手法や仕様の見直し、経費の節減についての検討を行った。医薬品については、カテゴリー別に分類したうえで、ディーラーとの交渉、メーカーヒアリングを実施し、節減を図ることができた。診療材料についても、経営コンサルティング業者を通じ、病床規模が同等な他病院との比較検討を行い、ディーラーとの交渉を有利に進め、年間契約品や新規採用材料費を節減した。施設管理委託についても、入札参加指名業者を見直すことにより、委託費用を節減することができた。

医師の業務負担軽減を目的に平成22年度から医師事務作業補助者を採用している。平成24年度は、16名から24名に増員し、8診療科の運用を15診療科に拡大した。

また、病棟事務補助者についても9名から12名に増員し、看護師の業務負担軽減を図った。

3 予算、収支計画及び資金計画（財務内容の改善に関する事項）の状況

[収益] 医療連携の強化による患者数の増加や診療単価の増、平均在院日数の短縮などにより、計画に比べ医療収益において6.2%、収益全体でも5.7%（+8億4千6百万円）の増となった。

[費用] 材料費や経費（特に委託料）における価格交渉や契約方法の見直しなどの経費節減の努力により、計画に比べ医療費用において0.3%の増に収まり、費用全体ではほぼ計画どおり（△3百万円）とすることができた。

こうした業務運営の改善及び効率化により、単年度収支は8億6千万円の黒字となり、経常収支比率も105.8%と目標である100%以上を昨年度に引き続き達成した。

また、昨年度は目標を達成できなかった職員給与費対医療収益比率についても、49.7%と目標である50%以下を達成することができた。

経常収支比率 = (営業収益+営業外収益) ÷ (営業費用+営業外費用) × 100

営業収益	15,611,866千円
営業外収益	121,494千円
営業費用	14,406,395千円
営業外費用	466,185千円

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項の状況

職員の就労環境の向上については、医師、看護師等が職務に専念でき、負担を軽減できるよう医師事務作業補助者・病棟事務補助者等を採用し、効率的な職員の配置に取り組んだ。

必要な看護師数確保のため、県内外の就職ガイダンスに積極的に参加するとともに、育児中の女性職員が安心して働けるように育児部分休業制度活用の推進や院内保育所の施設整備等にも取り組んだ。また夜間帯勤務の負担軽減のため、新規に夜勤専従看護師を採用した。

職員の健康管理については、法定検診（定期健康診断、人間ドック）、任意検診等（各種抗体検査、予防接種等）を確実に受診させるよう働きかけた。さらにメンタルヘルス対策にも取り組んだ。

医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展等を総合的に判断し、機器の選定及び購入を行った。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

Ⅲ 小項目別自己評価結果一覧表

(→評価書では 小項目ごとの検証結果一覧表)

※一部、項目名を省略して記載しているものや、便宜的に項目名を付しているものがある。

大項目	中項目	小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果	
1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組	1-1 診療事業	1-1-1 より質の高い医療の提供	(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備	01	Ⅲ	
			(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備	02	Ⅲ	
			(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成	03	Ⅲ	
			(4) 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進	04	Ⅲ	
			(5) コメディカルに対する専門研修の実施	05	Ⅲ	
			(6) EBMの推進	06	Ⅲ	
			(7) 医療安全対策の充実	07	Ⅲ	
			(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備	08	Ⅲ	
	患者・住民サービスの向上	1-1-2	(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善	09	Ⅲ	
			(2) 院内環境の快適性向上	10	Ⅲ	
			(3) 医療情報に関する相談体制の整備	11	Ⅲ	
			(4) 患者中心の医療の提供	12	Ⅲ	
			(5) インフォームドコンセント・サトウハチローの徹底	13	Ⅲ	
			(6) 満足度調査の病院運営への反映	14	Ⅲ	
	1-1-3 診療体制の充実	1-1-3	(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実	15	Ⅲ	
			(2) 多様な専門職の積極的な活用	16	Ⅲ	
	1-1-4 近隣医療機関等との役割分担・連携	1-1-4	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上	17	Ⅲ	
			(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及	18	Ⅲ	
			(3) 退院後の療養に関する各種情報の提供	19	Ⅳ	
	1-1-5 重点的に取り組む医療	1-1-5	(1) 救命救急医療	20	Ⅲ	
			(2) 心臓血管疾患医療	21	Ⅲ	
			(3) 母子周産期医療	22	Ⅲ	
			(4) がん診療拠点	23	Ⅳ	
			(5) 精神科医療・感染症医療	24	Ⅳ	
			(6) 緩和ケア	25	Ⅲ	

大項目	中項目	小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果		
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組	1-2 調査研究事業	1-2-1 調査・臨床研究等推進	(1) 治験管理事務、治験コーディネーター業務推進のための人材育成、体制強化及び受託件数の増加	26	Ⅲ		
			1-2-2 診療等の情報活用	(1) 医療総合情報システムの各種データの有効活用	27	Ⅳ	
				(2) 集積したエビデンスの活用	28	Ⅲ	
	1-2-3 保健医療情報の提供・発信	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催	29	Ⅲ			
		(2) 保健医療、健康管理等の情報提供	30	Ⅲ			
	1-3 教育研修事業	1-3-1 卒後臨床研修等の充実	(1) 質の高い医療従事者の養成	31	Ⅲ		
			(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等	32	Ⅲ		
	1-3-2 看護学生、救急救命士等教育	(1) 医学生、看護学生の実習受入れ	33	Ⅲ			
		(2) 地域医療従事者への研修の実施及び充実	34	Ⅲ			
	1-4 地域支援事業	1-4-1 地域医療への支援	(1) 地域医療水準の向上	35	Ⅲ		
			(2) 医師不足、へき地医療機関への人的支援	36	Ⅲ		
	1-4-2 社会的な要請への協力			37	Ⅲ		
		1-5 災害等発生時の医療救護	1-5-1 医療救護活動の拠点機能	(1) (医療救護活動拠点機能確保、訓練実施)	38	Ⅲ	
	1-5-2 他県等の医療救護への協力			(1) 大規模災害発生時のDMATの派遣	39	Ⅲ	
			(2) DMATの質の向上と維持	40	Ⅲ		
2-1 効率的な業務運営体制の確立	2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築	41	Ⅲ			
		(2) 各種業務のIT化の推進	42	Ⅲ			
		(3) アウトソーシング導入による合理化	43	Ⅲ			
		(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立	44	Ⅲ			
		(5) 時差出勤制度の導入	45	Ⅲ			
	2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用	(1) 弾力的運用の実施	46	Ⅲ			
		(2) 効果的な体制による医療の提供	47	Ⅲ			
		(3) 3法人間人事交流による適正な職員配置	48	Ⅲ			
	2-1-3 人事評価システムの構築			49	Ⅲ		
	2-1-4 事務部門の専門性の向上			50	Ⅲ		
2-2 2-2-1 多様な契約手法の導入			51	Ⅲ			

大項目	中項目		小項目	項目通番	自己評価	検証結果
	業務運営の見直しや効率化による収支改善	2-2-2 収入の確保	(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的活用、DPCの推進	52	III	
			(2) 未収金の発生防止対策等	53	III	
		2-2-3 費用の削減	54	III		
3	予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画			55	IV	
4	短期借入金の限度額			—	—	—
5	重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			—	—	—
6	剰余金の使途			—	—	—
7	料金に関する事項（※年度計画に対応項目なし）			—	—	—
業務運営に関する事項	8 その他県の規則で定める	8-1 職員の就労環境の向上	(1) (病院全体の勤務環境の改善)	56	III	
			(2) (保育所の受け入れ体制の強化)	57	III	
			(3) (看護師の就労環境の整備)	58	III	
			(4) (健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実)	59	III	
	8-2	県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項		60	III	
	8-3	医療機器・施設整備に関する事項		61	III	
8-4	法人が負担する債務の償還に関する事項		62	III		

IV 項目別の状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
1-1 診療事業
1-1-1 より質の高い医療の提供

中期目標	3 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する事項
	<p>3-1 診療事業</p> <p>東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>3-1-1 より質の高い医療の提供</p> <p>法人が有する医師、看護師、コメディカルや、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取組むことで、県内医療水準の向上に努めること。</p> <p>特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保等に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。</p> <p>また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に努めること。</p> <p>さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、医療安全対策を徹底すること。</p>

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
01	(1) 高度先進医療機器の計画的な更新・整備 CT (64・128スライス)、3T MRI、PET/CT、連続血管撮影装置、超音波診断装置、ESWL、内視鏡、手術用顕微鏡など高度医療機器を整備しているが、老朽化した機器も現存しているため、診療各科の需要に応じて新規購入及び更新を計画的に進める。	III	III			<p>(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度医療機器について、稼働率、耐用年数及び現在の状態等を勘案し、中期的な更新計画を作成する。 高精度放射線治療システムについて、本年秋の稼働に向け、治療棟の建設、機器の設置、関係省庁への許認可手続きを進める。 	<p>(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 取得価格3千万円以上の 高度医療機器について、耐用年数、経過年数などから中期的な更新計画を作成した。 高精度放射線治療システム (ノバリスTx) の設置、当該機器を収納する高精度放射線治療センターの建築、運用開始に向けた関係省庁への許認可手続きを行い12月から運用を開始した。また、平成25年度中の本格運用へ向けて照射量や減衰などのデータ収集を行った。 医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめて、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、新規購入や更新を計画的に進めた。 	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																									
							【更新・整備を実施した機器の稼働状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生体情報管理システム</td> <td>H23</td> <td>毎日</td> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>H23</td> <td>毎日</td> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>電子内視鏡システム</td> <td>H24</td> <td>—</td> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>電気生理記録システム</td> <td>H24</td> <td>—</td> <td>2回/週</td> </tr> <tr> <td>X線デジタル画像撮影装置</td> <td>H24</td> <td>—</td> <td>毎日</td> </tr> </tbody> </table> ※平成23・24年度に更新整備した主な機器が対象				機器名	整備年度	H23	H24	生体情報管理システム	H23	毎日	毎日	超音波診断装置	H23	毎日	毎日	電子内視鏡システム	H24	—	毎日	電気生理記録システム	H24	—	2回/週	X線デジタル画像撮影装置	H24	—	毎日			
機器名	整備年度	H23	H24																																		
生体情報管理システム	H23	毎日	毎日																																		
超音波診断装置	H23	毎日	毎日																																		
電子内視鏡システム	H24	—	毎日																																		
電気生理記録システム	H24	—	2回/週																																		
X線デジタル画像撮影装置	H24	—	毎日																																		
02	(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 職員の負担を軽減するため、職種毎の業務量に見合った人員数を確保し、時間外勤務の縮減に努めるとともに、職務に専念できる環境整備の一環として、院内保育所についてソフト面、ハード面の両面から充実を図り、働きやすい環境の整備及び職員の定着化を図る。	III	IV		(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 医師の業務の緩和を図るために、計画的な医師事務作業補助者の採用に努める。 看護師については7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努める。 平成23年12月に看護職員を対象として実施した院内保育所に関する調査結果を踏まえ、夜間保育の実施について検討する。 	(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助者を16名から24名に増員し、医師の過密業務の軽減を図った。 放射線業務について、高精度放射線治療機器の運用のため、平成24年4月1日に職員6名を採用し、夜間・休日の勤務における二交代制を導入した。 看護師の人員数確保について、潜在看護師の発掘を目的として、職場復帰支援プログラムを実施し、採用の際に個別のライフスタイルに柔軟に対応した勤務形態を提案し、非常勤看護師の積極的な採用に努めた。 職務に専念できる職場環境整備の一環として、院内保育所での夜間保育のための施設整備、安心して保育所を利用できるよう、保護者参加の行事の実施(クリスマス会)、保護者の意見を反映しやすい組織づくりのため、運営体制・規程の改定を行った。 【院内保育所の運営状況】 (各年度末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>37人</td> <td>44人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	入所者数	37人	44人	37人	保育士数	10人	9人	8人	III																		
区分\年度	H22	H23	H24																																		
入所者数	37人	44人	37人																																		
保育士数	10人	9人	8人																																		
03	(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 高度な医療を提供できる医師の養成のため、関連	III	III		(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 <ul style="list-style-type: none"> 名古屋大学、名古屋市立大学とは、従来どおり 	(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 <ul style="list-style-type: none"> 医師確保対策として、名古屋大学をはじめとす 	III																														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																	
	大学や学会における教育研修に積極的に参加させ、院内においてフィードバックできる体制の確立と研修医に対する充実した研修プログラムを実行する。					<p>関連する各科の医師の教育研修や連携を継続する。特に名古屋大学とは、岐阜県及び他病院と連携して研修医の確保及び優れた医師の育成を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床研修センター及び研修管理委員会を中心として、医師としての資質向上及び病院職員として必要となるコミュニケーション能力や問題を解決する力の養成を行う。 	<p>関連大学及び岐阜大学の病院実習生を積極的に受け入れた。</p> <p>【実績】 名古屋大学1名、名古屋市立大学8名、岐阜大学1名</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、研修医を中心とした若手医師用の教育コンテンツとして「臨床手技の動画検索システム」を試験的に運用した。 臨床研修管理委員会と臨床研修センターが中心となり、研修体制の見直しを行った。(研修医による各診療科の評価の実施、研修医からの要望に応じた外部講師による勉強会の開催) 医師としての資質向上を目的として、病院が費用負担し延べ219人の医師が学会に参加した。第16回アメリカ心不全学会、アメリカ合衆国心臓病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝胆膵外科学会、日本臨床救急医学会 など <p>【海外学会への派遣実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣用務</th> <th>派遣先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第16回アメリカ心不全学会</td> <td>アメリカ合衆国・シトル</td> </tr> <tr> <td>アメリカ合衆国心臓病学会(ACC)</td> <td>アメリカ合衆国・サンフランシスコ</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医師の研修派遣・受入実績人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>328人</td> <td>304人</td> <td>302人</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>26人</td> <td>20人</td> <td>16人</td> </tr> </tbody> </table>	派遣用務	派遣先	第16回アメリカ心不全学会	アメリカ合衆国・シトル	アメリカ合衆国心臓病学会(ACC)	アメリカ合衆国・サンフランシスコ	区分\年度	H22	H23	H24	派遣	328人	304人	302人	受入	26人	20人	16人		
派遣用務	派遣先																										
第16回アメリカ心不全学会	アメリカ合衆国・シトル																										
アメリカ合衆国心臓病学会(ACC)	アメリカ合衆国・サンフランシスコ																										
区分\年度	H22	H23	H24																								
派遣	328人	304人	302人																								
受入	26人	20人	16人																								
04	(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進 認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修を計画的に実施する。	III	III		<p>(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師の資格取得のための研修を計画的に実施する。 「脳卒中リハビリテーション認定看護師」の研修機関合格者が確実に資格取得できるよう支援を行う。 「慢性心不全認定看護師」及び「糖尿病認定看護師」の資格取得希望者に対し、確実に取得でき 	<p>(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師の資格取得のための研修を計画的に実施した。 「脳卒中リハビリテーション認定看護師」、「慢性心不全認定看護師」の資格取得希望者に対して、研修機関での研修を確実に受講できるように支援を行った。(研修修了済み) 「糖尿病認定看護師」の資格取得希望者に対し、支援を行った。平成25年度も引き続き支援を行 	III																				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																
						るよう支援を行う。 ・ 専門看護師の資格取得に向け支援を行う。	う。 ・ 「認知症認定看護師」の資格取得希望者に対し、支援を行った結果、1名が研修機関に合格した。(平成25年に研修に参加する予定) ・ 専門看護師については、「クリティカルケア専門看護師」資格の取得に向けて、1名が名古屋市立大学大学院の「急性・重症患者看護専門看護師コース」を受講した。受講に際し、勤務上の配慮など確実に受講できるように支援を行った。																																																																			
							【認定看護師・専門看護師数】(各年度末時点)																																																																			
							<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">分野</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>人数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9">認定</td> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>がん看護</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>12</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>				区分	分野	H22	H23	H24	人数	人数	人数	認定	皮膚・排泄ケア	2	2	2	集中ケア	2	2	2	緩和ケア	1	1	1	がん化学療法看護	1	1	1	がん性疼痛看護	1	1	1	感染管理	2	2	2	新生児集中ケア	1	1	1	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	救急看護	—	1	1		計	11	12	12	専門	がん看護	1	2	2	合計		12	14	14				
区分	分野	H22	H23	H24																																																																						
		人数	人数	人数																																																																						
認定	皮膚・排泄ケア	2	2	2																																																																						
	集中ケア	2	2	2																																																																						
	緩和ケア	1	1	1																																																																						
	がん化学療法看護	1	1	1																																																																						
	がん性疼痛看護	1	1	1																																																																						
	感染管理	2	2	2																																																																						
	新生児集中ケア	1	1	1																																																																						
	摂食・嚥下障害看護	1	1	1																																																																						
	救急看護	—	1	1																																																																						
	計	11	12	12																																																																						
専門	がん看護	1	2	2																																																																						
合計		12	14	14																																																																						
							【認定・専門看護師の研修会参加人数】																																																																			
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22 人数</th> <th>H23 人数</th> <th>H24 人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>				区分\年度	H22 人数	H23 人数	H24 人数	認定	1	1	2	専門	1	1	1																																																				
区分\年度	H22 人数	H23 人数	H24 人数																																																																							
認定	1	1	2																																																																							
専門	1	1	1																																																																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																										
05	(5) コメディカルに対する専門研修の実施 国、岐阜県等が主催する講習会、研修会の参加支援、また、先進病院への出向研修支援を行い、各種認定資格の取得促進することで専門性を高め、優れた技能・知識を有する職員を養成する。	III	III			<p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き厚生労働省、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行う。 <p>【薬剤部】</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> 各種認定薬剤師 専門薬剤師 指導薬剤師 <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> 各種学会、研修会等への参加 <p>【中央放射線部】</p> <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線診療従事者の新人研修 放射線医薬品取り扱いガイドライン講習 PET研修セミナー 放射線治療品質管理士講習 放射線師級主任者定期講習 マンモグラフィ認定技術養成講習 放射線管理士、機器管理士、医用画像精度管理士、臨床実習指導者講習 日本医療情報学会 <p>【臨床検査科】</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞検査士 超音波検査士 認定輸血検査技師 感染制御認定臨床微生物検査技師 認定臨床微生物検査技師 認定血液検査技師 各種二級臨床検査士 <p>【リハビリテーション科】</p>	<p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き厚生労働省、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行った。 <p>【薬 剤 部】</p> <table border="1"> <tr><td>医療薬学会指導薬剤師</td><td>更新資格取得1名</td></tr> <tr><td>がん薬物療法認定薬剤師</td><td>更新資格取得2名</td></tr> <tr><td>漢方薬・生薬認定薬剤師</td><td>更新資格取得1名</td></tr> <tr><td>緩和薬物療法認定薬剤師</td><td>受験資格取得1名</td></tr> <tr><td>小児薬物療法認定薬剤師</td><td>受験資格取得1名</td></tr> <tr><td>日本病院薬剤師会生薬研修認定</td><td>各種学会、研修会の参加を支援し、15名が認定申請に必要な単位を取得</td></tr> </table> <p>【中央放射線部】</p> <table border="1"> <tr><td>救急撮影専門技師</td><td>資格取得 1名</td></tr> <tr><td>医用画像精度管理士</td><td>資格更新 1名</td></tr> <tr><td>医療研修能力向上主催新人研修</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>第3回放射線医薬品取扱研修</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>日本核医学PET研修セミナー</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>放射線治療品質管理士研修</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>放射線師級主任者定期講習</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>医療情報学会</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>災害被災者対応講習会</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>第28回乳腺甲状腺超音波診断会議</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>実習施設指導者養成講習会</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>新人を対象とした院内OJT研修</td><td>2名参加</td></tr> <tr><td>その他</td><td>各種モダリティ別研究会、学会等への参加を支援</td></tr> </table> <p>【臨床検査科】</p> <table border="1"> <tr><td>細胞検査士</td><td>資格取得 1名</td></tr> <tr><td>学会参加</td><td>6学会 20人</td></tr> </table>	医療薬学会指導薬剤師	更新資格取得1名	がん薬物療法認定薬剤師	更新資格取得2名	漢方薬・生薬認定薬剤師	更新資格取得1名	緩和薬物療法認定薬剤師	受験資格取得1名	小児薬物療法認定薬剤師	受験資格取得1名	日本病院薬剤師会生薬研修認定	各種学会、研修会の参加を支援し、15名が認定申請に必要な単位を取得	救急撮影専門技師	資格取得 1名	医用画像精度管理士	資格更新 1名	医療研修能力向上主催新人研修	1名参加	第3回放射線医薬品取扱研修	1名参加	日本核医学PET研修セミナー	1名参加	放射線治療品質管理士研修	1名参加	放射線師級主任者定期講習	1名参加	医療情報学会	1名参加	災害被災者対応講習会	1名参加	第28回乳腺甲状腺超音波診断会議	1名参加	実習施設指導者養成講習会	1名参加	新人を対象とした院内OJT研修	2名参加	その他	各種モダリティ別研究会、学会等への参加を支援	細胞検査士	資格取得 1名	学会参加	6学会 20人	III		
医療薬学会指導薬剤師	更新資格取得1名																																																			
がん薬物療法認定薬剤師	更新資格取得2名																																																			
漢方薬・生薬認定薬剤師	更新資格取得1名																																																			
緩和薬物療法認定薬剤師	受験資格取得1名																																																			
小児薬物療法認定薬剤師	受験資格取得1名																																																			
日本病院薬剤師会生薬研修認定	各種学会、研修会の参加を支援し、15名が認定申請に必要な単位を取得																																																			
救急撮影専門技師	資格取得 1名																																																			
医用画像精度管理士	資格更新 1名																																																			
医療研修能力向上主催新人研修	1名参加																																																			
第3回放射線医薬品取扱研修	1名参加																																																			
日本核医学PET研修セミナー	1名参加																																																			
放射線治療品質管理士研修	1名参加																																																			
放射線師級主任者定期講習	1名参加																																																			
医療情報学会	1名参加																																																			
災害被災者対応講習会	1名参加																																																			
第28回乳腺甲状腺超音波診断会議	1名参加																																																			
実習施設指導者養成講習会	1名参加																																																			
新人を対象とした院内OJT研修	2名参加																																																			
その他	各種モダリティ別研究会、学会等への参加を支援																																																			
細胞検査士	資格取得 1名																																																			
学会参加	6学会 20人																																																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<支援認定資格> ・心臓リハビリテーション指導士 ・3学会合同呼吸療法認定士認定講習会及び認定試験受験 <講習・研修等> ・がんのリハビリテーション研修 ・感覚統合療法入門講習 ・高次脳機能障害支援事業ともなう、必要な知識、診療に関する研修会 ・内部障害関連（呼吸、徳農器、代謝）研修会 【栄養管理部】 <支援認定資格> ・糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム（NST）専門療養士	研修会参加 7研修会 9人 その他 平成24年度日本臨床検査技師会中部圏支部医学検査学会(第51回)学会事務局設置(学会長、事務局長、副事務局長、実行委員2名、学会スタッフ22名 計27名)学会開催に協力。			
							【臨床工学部】			
							透新安全管理責任者 資格取得 2名			
							【リハビリテーション科】			
						心臓リハビリテーション指導士	受験資格取得 PT2名			
						3学会合同呼吸療法認定士	認定講習会の受講資格取得 PT1名			
						がんのリハビリテーション研修ワークショップ	OT1名、PT3名参加			
						感覚統合療法入門講習	OT1名参加			
						岐阜県高次脳機能障害協力医療機関ネットワーク会議 研修会	OT1名、ST1名参加			
						日本心血管インターベンション治療学会第28回東海北陸地方会	PT3名参加(うち1名発表)			
						第22回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	PT1名参加			
						日本難病研究会、研修会	PT1名参加(計3回)			
						東海心リハ研究会	PT1名参加			
						【栄養管理部】				
						糖尿病療養指導士	資格取得 1名			
						栄養サポートチーム（NST）専門療養士	資格取得 1名			
						【コメディカル専門研修の参加人数】				
						区分\年度	H22	H23	H24	
						薬剤師	16人	25人	24人	
						検査技師	25人	37人	64人	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							放射線技師	22人	27人	30人		
							臨床工学技士	2人	8人	14人		
							リハビリ技師	36人	21人	30人		
							管理栄養士	10人	7人	5人		
							合計	111人	125人	167人		
06	(6) EBMの推進 各診療科の疾患についてのガイドラインに基づいた診療の確立と院内での治療成績などの集積を充実しEBM (Evidence Based Medicine の略、科学的根拠に基づいた医療) の実践を推進する。	III	III			(6) EBMの推進 ・ 各診療科において整備された診療ガイドラインに基づいた診療の確立を図る。 ・ クリニカルパスの改訂等によりさらなる診療の質の充実を図る。	(6) EBMの推進 ・ 各診療科において診療ガイドラインの充実を進めたことに伴い、ガイドラインに基づいた診療が浸透してきた。 ・ 診療の実情や使用頻度により整理し、クリニカルパスを検証・整理した。 クリニカルパスの実数 154 【診療科別クリニカルパスの内訳】	III				
							診療科名	パス数				
							産婦人科	22				
							整形外科	31				
							呼吸器科	18				
							外科・消化器外科	30				
							その他	53				
							【クリニカルパス種類数・使用数】					
							区分\年度	H22	H23	H24		
							種類数	143種	145種	154種		
							使用数	5,597件	5,702件	5,941件		
						・ 従来から公表しているクリニカルインディケーターについて、継続して最新のデータをホームページ上で公表する	・ クリニカルインディケーターについては、院内に専門の委員会を組織し、ホームページ上で公表する指標を選定した。選定した指標について各診療科の実績データを取りまとめ、平成25年度に公表できるよう準備を行った。					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																
07	<p>(7) 医療安全対策の充実</p> <p>医療安全部におけるインシデントレポートの集積分析及び事例の検討、アクシデントに対する迅速な対応を行い、毎月安全管理における検討と年2回の研修会及び各部署における検討会を行い事例及び対策などの共有化を図る。</p>	III	IV			<p>(7) 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療の質および安全の確保のため、インシデント及びアクシデント案件があった場合は、各部署にてRCA（根本原因分析）実施を徹底する。 毎月医療安全部会、医療安全管理委員会を開催し、インシデント、アクシデントレポートの集積を行う。その分析・検討結果を活用して医療安全部、医療安全管理委員会の活動を通じて全職員に周知し、組織横断的に医療安全について積極的に働きかける。 専従の医療安全管理者、リスクマネージャーの活動を支援し、医療安全に関する活動を充実する。 院内研修会（外部講師や職員によるシンポジウム等）を積極的に開催するとともに欠席者に対しては別途ビデオ上映を行うなどフォローアップ 	<p>(7) 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデントレポートについては、職員の理解が深まり、平成23年度に月平均220件であった報告件数が、平成24年度には月平均265件まで増加した。またインシデントの内容によってRCAを実施した。 <p>【インシデント・アクシデント件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>1,991件</td> <td>2,642件</td> <td>3,169件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>19件</td> <td>21件</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,010件</td> <td>2,663件</td> <td>3,186件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全部会、医療安全管理委員会を定期的に開催した。医療安全管理委員会では、医療安全対策に重要なインシデント事例を3～6事例/月を検討し、管理会議や医局会を通じて全職員に注意喚起を行った。 医療安全管理者、リスクマネージャーは臨機応変に活動を展開した。 4月から患者サポート体制カンファレンスを毎週火曜日に開催し、対応方法や事後のケアについて検討を行った。 11/25から12/1の医療安全推進週間には、「患者誤認防止、薬剤確認方法の啓蒙週間」として全職員に対し啓蒙活動を行った。患者誤認防止対策として入院中の患者225人、病院職員568人にアンケート調査を実施した。 薬剤確認方法に関しては、注射、内服に関する安全対策マニュアル改訂に合わせて改訂マニュアルの普及活動を行った。 院内研修会については、全職員参加を目標に実施した。出席者は延べ794名で、欠席者には研修内容を録画したDVDビデオを視聴させた。 	区分\年度	H22	H23	H24	インシデント	1,991件	2,642件	3,169件	アクシデント	19件	21件	17件	合計	2,010件	2,663件	3,186件	III		
区分\年度	H22	H23	H24																							
インシデント	1,991件	2,642件	3,169件																							
アクシデント	19件	21件	17件																							
合計	2,010件	2,663件	3,186件																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
						を充実する。	【医療安全研修会開催実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月13日</td> <td>全職員で取り組む医療安全 ～連携不足が招く医療事故の実際～</td> <td>419人</td> </tr> <tr> <td>2月14日</td> <td>がん治療における医療安全の問題点 ～それぞれの立場で、がん治療に関わる 中での問題点～</td> <td>375人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	テーマ	参加人数	9月13日	全職員で取り組む医療安全 ～連携不足が招く医療事故の実際～	419人	2月14日	がん治療における医療安全の問題点 ～それぞれの立場で、がん治療に関わる 中での問題点～	375人		
開催日	テーマ	参加人数																
9月13日	全職員で取り組む医療安全 ～連携不足が招く医療事故の実際～	419人																
2月14日	がん治療における医療安全の問題点 ～それぞれの立場で、がん治療に関わる 中での問題点～	375人																
08	(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備 感染管理看護師を中心にサーベイランス、コンサルテーション、職員教育等を実施し、院内の感染防止対策に務める。	IV	III		(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備 <ul style="list-style-type: none"> ICT (Infection Control Team の略、感染防止対策チーム) と各部署より選抜されたリンクナースが協働し、継続性のある感染対策を実践し医療関連感染の低減につなげる。 月1回のICT会議、週1回のICTによる抗菌薬適正使用カンファレンスを継続、ラウンドや教育を強化し、全職員の感染対策に関する知識・技術の向上を図る。 感染対策マニュアルの活用とともに内容を評価し、より効果的なものに改訂する。 	(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備 <ul style="list-style-type: none"> インフルエンザの院内感染が発生した際に、ICT (Infection Control Team の略、感染防止対策チーム) が介入し、早期にアウトブレイクと判断した。飛沫感染や接触感染の防止、患者隔離、新規の入院制限など必要な対策を実践したことにより感染拡大には至らずに終息させることができた。 週1回の定期開催による抗菌薬適正使用カンファレンスを行い、主治医への介入や勉強会開催、アンチバイオグラムの作成や配布などの活動を継続したことにより、前年度に比べ使用制限抗菌薬及び抗菌薬全体の使用量の低下と維持につながった。 全職員を対象とした感染対策教育講演会2回と委託業者も含めた職種別、レベル別の勉強会・研修会等を開催した。 【感染対策教育講演会開催実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月22日・25日</td> <td>結核</td> <td>468人</td> </tr> <tr> <td>12月3日</td> <td>全職員で取り組む感染対策 ～あなたの参加が大切なんです～</td> <td>472人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 感染対策マニュアルの改訂と追加を行った。 	開催日	テーマ	参加数	6月22日・25日	結核	468人	12月3日	全職員で取り組む感染対策 ～あなたの参加が大切なんです～	472人	III		
開催日	テーマ	参加数																
6月22日・25日	結核	468人																
12月3日	全職員で取り組む感染対策 ～あなたの参加が大切なんです～	472人																

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<ul style="list-style-type: none"> アウトブレイクや流行性疾患患者・職員を確認した場合、早期に終息へつなげる体制を継続・強化する。 院内感染について近隣病院との連携を強化し、地域全体の感染制御の質の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザやノロウイルスなどによる感染性胃腸炎の流行期などには全職員へ向け院内メールを発信し注意喚起を行い、定期・臨時で ICT 通信を発行しリアルタイムな感染管理に関する情報提供と感染対策実施に向けた啓発を行った。 近隣 4 医療施設・東濃保健所との感染防止対策合同カンファレンスを 3 回開催した。岐阜地区で開催される合同カンファレンスへも 2 回参加した。また 2 医療施設間における感染対策相互チェックラウンドを実施した。 			

1-1-2 患者・住民サービスの向上

中期 目標	<p>3-1-2 患者・住民サービスの向上</p> <p>来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の整備、医療情報に関する相談体制の整備・充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。</p> <p>また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れる仕組みを作り、患者・住民サービスの向上を図ること。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
09	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 診療時間帯の延長、検査機械の稼働率向上化、医師等の配置及び手術室の運用の改善等による手術実施体制の再整備により、診療待ち時間の短縮や検査、手術待ちの改善を図る。</p>	III	III			<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 待ち時間調査を実施し、現状を把握する。 待ち時間の苦痛緩和に向けて対応策を引き続き検討する。 <p>・ 正面玄関ロビーの改修にあわせ、窓口等を見直し、会計待ち時間の改善を図る。</p>	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月に放射線、内視鏡、生理検査、10～12月に診療科待ち時間調査を実施し、検証した。 <p>【平均待ち時間の状況】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均待ち時間</td> <td>24分</td> <td>23分</td> <td>23分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※予約時間からの遅延時間平均</p> <ul style="list-style-type: none"> 正面玄関ロビーの改修にあわせ、窓口等を見直し、フレキシブルな対応が可能な体制を作った。 自動支払機の更新及び増設、会計表示の見直しにより、支払いに要する待ち時間を短縮し、患者 	項目\年度	H22	H23	H24	平均待ち時間	24分	23分	23分	III		
項目\年度	H22	H23	H24															
平均待ち時間	24分	23分	23分															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
						<ul style="list-style-type: none"> 医療連携を充実させることにより、逆紹介を円滑に進め、外来患者数の縮減に努める。取り組みの結果、各診療科において、診察予約時間から30分以内の診療を目指す。 開業医の訪問活動を継続して実施し、紹介率の向上に努めるとともに、CT、MRIなどの検査依頼についても、検査枠の見直し等効率化を検討する。 	<p>のストレスを緩和することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 点在する外来駐車場を効率的に運用するため、駐車場利用者が集中する午前中には、駐車場管理の警備員を2名増員し、駐車場入庫待ちによる混雑解消を図った。 逆紹介を推し進めるため、各診療科の掲示板において、病診連携推進の「お知らせ」を掲示して、紹介状持参の促進と近隣のかかりつけ医との役割分担の違いについて患者への周知を行った。 開業医への訪問活動を通して得た情報に基づき、診療情報提供書の早期作成に努めた。 医療連携枠として新たに「骨密度検査枠」を追加した。 <p>【CT、MRI 検査件数の比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>24,319件</td> <td>25,234件</td> <td>26,350件</td> </tr> <tr> <td>MRI件数</td> <td>7,640件</td> <td>7,919件</td> <td>8,646件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度より中央放射線部において2交代制を導入した。あわせて早出、遅出という勤務体制を導入し、混雑する時間帯への集中を緩和した。 	区分\年度	H22	H23	H24	CT件数	24,319件	25,234件	26,350件	MRI件数	7,640件	7,919件	8,646件		
区分\年度	H22	H23	H24																		
CT件数	24,319件	25,234件	26,350件																		
MRI件数	7,640件	7,919件	8,646件																		
10	<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <p>病室、待合室、トイレ等を計画的に改修、補修し快適な院内環境を提供するとともに患者のプライバシー確保に配慮した院内環境を整備する。また、治療効果を高めつつ、より快適な入院生活を送れるように栄養管理及び患者の嗜好を配慮した個人対応食を充実させる。</p>	III	III		<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 正面玄関ロビーを「明るく」「清潔・安心」で「あたたかい」空間にイメージチェンジするための改修工事を行う。 病院案内図等の院内のサインを正確で見やすいものに改修し、来院者の利便性の向上を図る。 清掃業務について、責任を明確にして機動性のある業務委託とすることによって、清潔な院内スペースを実現する。 治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう、引き続き献立・食材の見直しや食種の見直しを行う。 栄養不良の疑われる患者に対し、NSTの積極 	<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 正面玄関ロビーの改修工事は、木材を豊富に使用し、明るさとともに和みのある空間にイメージチェンジした。 正面玄関ロビーの改修工事に併せ、院内サインの色調を統一し、見やすく、分かりやすいものへと改修し、患者の利便性向上を図った。 専用部、共用部を2業者で行っていた清掃業務を一本化したことで、清掃に関する責任が明確化されたとともに病院との窓口の一本化により機動性が高まった。 国の栄養摂取基準にあわせ、妊産婦食と貧血食の見直しを行った。 喫食量の低下や栄養不良が疑われる患者に対し 	III														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
						<p>的な介入で早期の改善を目指す。また、喫食量の低下した患者への個別の聞き取りを継続的に行い、よりきめ細かな食事が提供できるよう充実を図る。</p>	<p>て、病棟で管理栄養士による聞き取りを行い、よりきめ細かな提供を行い、喫食量増加に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> NSTの介入による早期栄養状態の改善等栄養管理強化に努めた。 <p>【喫食量の低下した患者への個別聞き取り、NST介入件数の前年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別聞き取り</td> <td>40件/月</td> <td>73件/月</td> <td>96件/月</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>16件/月</td> <td>38件/月</td> <td>41件/月</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 急速に普及するスマートフォンなどの次世代通信端末に対応できるよう、屋内に専用のアンテナを設置し、院内通信網を整備した。 	項目\年度	H22	H23	H24	個別聞き取り	40件/月	73件/月	96件/月	NST介入	16件/月	38件/月	41件/月		
項目\年度	H22	H23	H24																		
個別聞き取り	40件/月	73件/月	96件/月																		
NST介入	16件/月	38件/月	41件/月																		
11	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備 医療費支払いに関する各種福祉制度の活用や転院相談等の医療情報に関する相談を、より受け易くできるような相談体制の整備、充実を図る。</p>	III	III		<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療連携室と医療相談室について、執務室を統合し、連携の強化を図る。 緩和ケアや精神科病棟への対応のためスタッフの充実を図り、転院調整や各種相談業務への対応を強化する。 がん患者サロンを活用し、がん患者及びその家族に対し相談を行う。 	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療連携室と医療相談室の執務室を統合したことで、情報の共有化が図れ、バス運用の初期での対応、転院・退院調整の役割分担とを連携センター全体として担うことが可能となり、フレキシブルな対応ができた。 平成24年4月から、緩和ケア認定看護師を地域医療連携センター師長として配置し、相談者に専門的なアドバイス、適切なケアを提供した。 緩和ケア外来から病棟入院に関し、相談員1名を専従とし、がん患者及び家族への相談支援を行った。 相談員1名がPSW（精神保健福祉士）の資格を取得し、精神疾患に関する地域と当院間の連携業務を担い、受診や入院の相談支援を行った。 平成24年4月から、相談員としてMSW（社会福祉士）を1名増員し、医療相談業務の拡充を図った。 がん患者サロンを活用し、がん患者及びその家族に対し相談を行った。 <p>【相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>8,567件</td> <td>7,921件</td> <td>10,199件</td> </tr> <tr> <td>がんサロン相談件数</td> <td>一件</td> <td>131件</td> <td>168件</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H22	H23	H24	医療相談件数	8,567件	7,921件	10,199件	がんサロン相談件数	一件	131件	168件	III		
項目\年度	H22	H23	H24																		
医療相談件数	8,567件	7,921件	10,199件																		
がんサロン相談件数	一件	131件	168件																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
12	(4) 患者中心の医療の提供 患者の権利（安全、平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できるなど）の保証と職員への周知、医療者としての倫理観の確立に努める。	III	III			(4) 患者中心の医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> 患者の権利（安全、平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できるなど）の保証と職員への周知、医療者としての倫理観の確立に努める。 職員に対し患者中心の医療、患者の自己決定権について研修を実施する。 	(4) 患者中心の医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> 当院の基本理念である「安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます」をコンセプトにしたシンボルマークを制定し、病院利用者及び職員に患者中心の医療の実践をアピールした。 平成23年度から医療安全研修会（講演会）の内容を録画し、研修に参加できなかった職員を対象に、後日、視聴させる仕組みを整えた。平成24年度も引き続き実施し、全職員が研修を受講できるように取り組んだ。 患者相談窓口を充実させ、毎週火曜日に患者からの要望や相談内容について検討することを目的とした患者サポート体制カンファレンスを開催している。平成24年度は52回開催し、45件について検討を行った。検討内容については、管理会議や医局会で報告して周知を図っている。 患者や家族に治療に対する理解を深めてもらうことを目的にNPO法人「医療の質に関する研究会」の患者図書室プロジェクトに応募し、必要な備品や図書の寄付を受けた。平成25年4月の開設に向け準備を整えた。 <p>【カルテ開示請求件数・開示件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>25件</td> <td>34件</td> <td>62件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>25件</td> <td>34件</td> <td>61件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	請求件数	25件	34件	62件	開示件数	25件	34件	61件	III		
区分\年度	H22	H23	H24																			
請求件数	25件	34件	62件																			
開示件数	25件	34件	61件																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項													
13	(5) インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 説明と同意について院内での方針を明文化し、全職員にその意義を周知するとともにセカンドオピニオンについて院内や病院のホームページに掲載し、医療連携室を窓口として一元的に対応する。	III	III			(5) インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 ・ 治療に必要な情報を患者が理解できる言葉で、提供、説明し、患者自らの判断で治療方針等を選択できるようインフォームドコンセントを徹底する。また、全職員を対象とした研修を実施する。 ・ セカンドオピニオンについては、院内や病院のホームページに掲載し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応する。また、がんの種類別に医師を選任し、相談に応じる。	(5) インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 ・ 全職員を対象とした医療安全研修会（講演会）を開催し、インフォームドコンセントの重要性について周知することができた。 ・ インフォームドコンセントについては、同意書以外に説明内容を書面で残すことを徹底した。 ・ セカンドオピニオンについては、院内や病院のホームページに案内掲示し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応をした。がんの種類別に医師を選任し、相談に応じた。 【セカンドオピニオン実施件数】	III															
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>5件</td> <td>11件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>48件</td> <td>74件</td> <td>69件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	外来受入	5件	11件	12件	他院紹介	48件	74件	69件				
区分\年度	H22	H23	H24																				
外来受入	5件	11件	12件																				
他院紹介	48件	74件	69件																				
14	(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を定期的に開催し、地域住民のニーズを把握し、病院運営に反映させる。	III	III			(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 ・ 地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、地域住民のニーズを把握する。 ・ 外来及び入院患者を対象とした患者満足度調査を引き続き実施する。 ・ 収集した患者や地域住民からのニーズについては、積極的に病院運営に反映させる。	(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 ・ 病院運営協議会を開催し、近隣の医療機関との機能分化や連携強化、医療従事者の育成確保、災害拠点病院としての取り組みなどについて意見交換を行った。 H25.2.4 議題 ・ 地域の医療連携強化の取り組みについて ・ 医療従事者の確保・育成について ・ 災害時における医療の確保について ・ 各種イベント等の開催について ・ 外来及び入院患者を対象とした患者満足度調査を平成25年1月に実施した。 ・ 調査結果のうち、満足度3.5以下（5点満点）のものについては、各部門において検討し、改善できるものは直ちに実行した。それ以外のは今後の検討課題として、院内での情報共有を図った。	III															

1-1-3 診療体制の充実

中期目標	3-1-3 診療体制の充実 医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実や見直し、若しくは専門外来の設置や充実など診療体制の整備・充実を図ること。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																				
15	(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 患者動向や周辺医療機関の状況などに応じ、地域医療支援病院として医療資源の活用を図れるように医療連携室の充実と診療体制の整備を図る。	III	III			(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・ 地域医療連携センター内にて医療連携室、医療相談室の情報を共有し、担当間の連携を強化することで、患者動向や地域の医療機関の状況把握・データ分析、地域連携バスの運用、入院初期段階からの転院・退院調整等を促進する。 ・ 手の外科や膠原病外来など、専門性が高く要望の多い分野の外来機能の強化を図る。	(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・ 医療連携室と医療相談室の情報の共有により、担当間の連携を強化することができた。 ・ 入院初期段階からの転院・退院調整等を促進することができた。 【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> <tr> <td>47.9%</td> <td>49.8%</td> <td>51.9%</td> </tr> </table> ・ 総合案内を充実させることにより、専門外来を周知することができた。また膠原病外来では医師事務作業補助者の配置を行い機能強化に務めた。 ・ 平成24年6月より、専門看護師や認定看護師による看護専門外来を開設した。 【看護専門外来の利用状況】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>専門外来名</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談外来</td> <td>159件</td> </tr> <tr> <td>リンパ浮腫相談外来</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>ストーマケア相談外来</td> <td>307件</td> </tr> <tr> <td>糖尿病フットケア外来</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td>栄養支援外来</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>516件</td> </tr> </tbody> </table>	H22	H23	H24	47.9%	49.8%	51.9%	専門外来名	件数	がん相談外来	159件	リンパ浮腫相談外来	5件	ストーマケア相談外来	307件	糖尿病フットケア外来	26件	栄養支援外来	19件	計	516件	III		
H22	H23	H24																												
47.9%	49.8%	51.9%																												
専門外来名	件数																													
がん相談外来	159件																													
リンパ浮腫相談外来	5件																													
ストーマケア相談外来	307件																													
糖尿病フットケア外来	26件																													
栄養支援外来	19件																													
計	516件																													
16	(2) 多様な専門職の積極的な活用 高度な専門性を有する職員を外部から登用するにあたり、その専門性に適した処遇が可能となる人事給与制度を構築する。さらに高度な専門性を有する職員が定年を迎えた場合の再雇用制度も構築する。	III	III			(2) 多様な専門職の積極的な活用 ・ 昨年度構築した人事給与制度や再雇用制度等を基に、必要な職員の確保対策についてその手法を含め検討する。	(2) 多様な専門職の積極的な活用 ・ 病院に必要とされる専門性や能力を有した職員を確保するため、診療情報管理士2名を新規に採用した。また、専門業務職員1名が認定試験に合格し、同資格を取得した。	III																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							<ul style="list-style-type: none"> 定年を迎えた職員については、希望者全員を再雇用することとしているが、退職する職員が管理職で、組織にとって極めて有為な人材の場合には、非常勤の管理職員として再雇用できるよう規程を整備しており、1名を再雇用の管理職として採用した。 			

1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携

中期目標	<p>3-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携</p> <p>近隣の医療機関等との役割分担を明確にするとともに病病連携・病診連携を一層推進し、地域の実情に応じて東濃地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を実施すること。さらに、退院後の療養に関する各種情報を提供することにより、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p>
------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
17	<p>(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>近隣の医療機関との連携を強化し、地域医療支援病院としての要件である紹介率40%以上、逆紹介率60%以上の確保をはかるとともに、当院機器の共同利用、開放病床の普及を図る。近隣の医療機関がかかりつけ医としての役割を担うこと及び当院が二次医療病院であることを住民や地域医療機関に周知し、紹介率、逆紹介率のさらなる向上に努める。</p>	III	IV			<p>(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 外来待ち合いスペースに設置する「医療連携登録医情報コーナー（仮称）」を活用し、外来患者を中心に登録医の情報を発信したり、登録医等への訪問活動を実施する。 当院が急性期病院であることを地域の医療機関や住民に周知することにより、紹介率60%、逆紹介率75%以上の恒常的な確保を目指す。 	<p>(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録医を対象とした訪問活動や、医療連携登録医情報コーナーとホームページによる情報発信を行い、医療機関や住民に対し、当院が急性期病院であること、かかりつけ医との連携により地域医療の向上を目指すことをPRした。 平成24年度の紹介率については、対前年比で0.1%減と大きな変化はないが、紹介患者の実件数では838件の増加となっている。また、逆紹介率については、1.0%減、181件の増加となっている。 <p>【紹介率・逆紹介率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>60.2%</td> <td>62.7%</td> <td>62.6%</td> </tr> <tr> <td>紹介実件数</td> <td>17,031件</td> <td>17,215件</td> <td>18,053件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>79.2%</td> <td>83.8%</td> <td>82.8%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実件数</td> <td>20,241件</td> <td>20,842件</td> <td>21,023件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	紹介率	60.2%	62.7%	62.6%	紹介実件数	17,031件	17,215件	18,053件	逆紹介率	79.2%	83.8%	82.8%	逆紹介実件数	20,241件	20,842件	21,023件	III		
区分\年度	H22	H23	H24																											
紹介率	60.2%	62.7%	62.6%																											
紹介実件数	17,031件	17,215件	18,053件																											
逆紹介率	79.2%	83.8%	82.8%																											
逆紹介実件数	20,241件	20,842件	21,023件																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																								
						<ul style="list-style-type: none"> 高度医療機器、開放病床の利用について引き続き利用拡大を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度の高度医療機器予約数については、CT、MRIは12.6%の減少、RI・PETについては22.9%の減少となっている。高度医療機器の予約状況の分析を行い、さらなる利便性の向上を図り、連携病院の医師が利用しやすい環境づくりを行う。 <p>【高度機器利用の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>580件</td> <td>610件</td> <td>534件</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>547件</td> <td>548件</td> <td>478件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 開放病床の利用に関しても、かかりつけ医の意見を聴取しながら、さらなる利便性の向上を目指した。 <p>【開放型病床利用の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>8件</td> <td>10件</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	CT	580件	610件	534件	MRI	547件	548件	478件	区分\年度	H22	H23	H24	医科	0件	4件	0件	歯科	8件	10件	9件			
区分\年度	H22	H23	H24																															
CT	580件	610件	534件																															
MRI	547件	548件	478件																															
区分\年度	H22	H23	H24																															
医科	0件	4件	0件																															
歯科	8件	10件	9件																															
18	<p>(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及 すでに進行中の脳卒中、大腿骨頸部骨折連携パスのさらなる改善、充実を目指す。5大がん、生活習慣などについて連携パスの作成、普及に努める。</p>	III	III		<p>(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携推進協議会を通じ、既存の地域連携パス（大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症・心筋梗塞）及び新たにスタートさせる糖尿病の地域連携パスの運用促進のため、医師会、行政機関等へ理解と協力を求めている。 <ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院地域連携強化事業、生活習慣病医療連携推進事業を活用し、連携パスコー 	<p>(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及等</p> <ul style="list-style-type: none"> 大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症・心筋梗塞に加え、糖尿病の地域連携パスの運用を開始した。地域医療連携推進協議会を通じ、運用促進のため医師会、行政機関等へ理解と協力を求めた。 <p>【地域連携パス運用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パス名\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>80件</td> <td>79件</td> <td>80件</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>250件</td> <td>321件</td> <td>305件</td> </tr> <tr> <td>5大がん</td> <td>1件</td> <td>4件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>狭心症・心筋梗塞</td> <td>1件</td> <td>10件</td> <td>94件</td> </tr> <tr> <td>糖尿病</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 連携パスコーディネーターを中心に、円滑にパスが運用できるよう、各種マニュアルや様式の見 	パス名\年度	H22	H23	H24	大腿骨頸部骨折	80件	79件	80件	脳卒中	250件	321件	305件	5大がん	1件	4件	5件	狭心症・心筋梗塞	1件	10件	94件	糖尿病	1件	1件	5件	III			
パス名\年度	H22	H23	H24																															
大腿骨頸部骨折	80件	79件	80件																															
脳卒中	250件	321件	305件																															
5大がん	1件	4件	5件																															
狭心症・心筋梗塞	1件	10件	94件																															
糖尿病	1件	1件	5件																															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
						ディネーター等を中心に、院内外に対するPR活動を重点的に行う。	直しに取り組むとともに、院内スタッフへの周知や、医師会等を通じ運用促進を行った。特に糖尿病パスの運用開始に向けた調整、5大がんパスの県統一様式導入に向けた登録医への訪問活動に尽力した。 ・ 大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がんのパスに関する運用上の問題点や要望等を把握するため、大腿骨頸部骨折、脳卒中パスについてはパス合同委員会を、5大がんパスについてはパス運用検討会を実施した。 ○大腿骨頸部骨折、脳卒中パス合同委員会 6/28、10/11、2/28 ○がん連携パス運用検討会 7/30 【共同指導・連携指導の実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院共同指導実績</td> <td>37件</td> <td>34件</td> <td>85件</td> </tr> <tr> <td>介護支援連携指導</td> <td>166件</td> <td>197件</td> <td>266件</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H22	H23	H24	退院共同指導実績	37件	34件	85件	介護支援連携指導	166件	197件	266件		
項目\年度	H22	H23	H24																		
退院共同指導実績	37件	34件	85件																		
介護支援連携指導	166件	197件	266件																		
19	(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 退院調整担当師長及び医療相談室を中心に近隣の医療機関、介護・福祉機関との連携を努める。	III	III			(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 ・ 退院調整看護師と、医療相談員との連携を強化し、退院支援の充実を図る。 ・ 退院前に医師や地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携に努める。	(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 ・ 医療相談室でのカンファレンスを週に1度行うよう定例化した。退院調整看護師・各相談員が情報を共有し、連携を強化できた。 ・ 退院前に医師、看護師、地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携を強化するとともに、安全・安楽に在宅療養できるよう支援を行った。 【合同カンファレンスの実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>173件</td> <td>231件</td> <td>351件</td> </tr> </tbody> </table>	H22	H23	H24	173件	231件	351件	IV							
H22	H23	H24																			
173件	231件	351件																			

中期目標	<p>3-1-5 重点的に取り組む医療</p> <p>高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるが県民が必要とする医療を、岐阜県立多治見病院として重点的に実施すること。</p> <p>特に、「救命救急医療」、「急性期医療」、「母子周産期医療」、「がん診療拠点」など高度で先進的な医療を提供するとともに、「精神科医療」、「感染症医療」など政策医療を提供すること。</p>
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																														
20	<p>(1) 救命救急医療</p> <p>救命救急センターと各診療科の緊密な連携による24時間を通しての受け入れ体制をさらに充実させる。</p> <p>また、ドクターカーなどを活用して先進的な地域救急システムの構築に取り組む。</p>	IV	III			<p>(1) 救命救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターと各診療科の緊密な連携により救急受け入れ体制の維持及びさらなる充実に努める。 <p>ドクターカーのより効率的な運用を図る。</p>	<p>(1) 救命救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣の医療機関との役割分担の推進、救命救急センターと各診療科の連携により、ほぼ全ての救急車を受け入れ、地域の要望に応えた。 <p>【救命救急医療受入実績（延患者数及び病床利用率）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種</th> <th colspan="2">H22</th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> </tr> <tr> <th>項</th> <th>延患者数</th> <th>病床利用率</th> <th>延患者数</th> <th>病床利用率</th> <th>延患者数</th> <th>病床利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICU</td> <td>1,650</td> <td>56.5%</td> <td>1,491</td> <td>50.9%</td> <td>1,453</td> <td>49.8%</td> </tr> <tr> <td>CCU</td> <td>788</td> <td>72.0%</td> <td>816</td> <td>74.3%</td> <td>859</td> <td>78.4%</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>2,421</td> <td>73.7%</td> <td>2,173</td> <td>66.0%</td> <td>2,135</td> <td>65.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,859</td> <td>66.6%</td> <td>4,480</td> <td>61.2%</td> <td>4,447</td> <td>60.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【救急車受入台数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入台数</td> <td>4,581台</td> <td>4,620台</td> <td>4,368台</td> </tr> <tr> <td>一日平均台数</td> <td>12.5台</td> <td>12.6台</td> <td>12.0台</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ドクターカーについては、担当スタッフが減少する中で、可能な範囲の運用を行った。 <p>【ドクターカー稼働実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出動件数</td> <td>477件</td> <td>421件</td> <td>251件</td> </tr> </tbody> </table>	種	H22		H23		H24		項	延患者数	病床利用率	延患者数	病床利用率	延患者数	病床利用率	ICU	1,650	56.5%	1,491	50.9%	1,453	49.8%	CCU	788	72.0%	816	74.3%	859	78.4%	HCU	2,421	73.7%	2,173	66.0%	2,135	65.0%	計	4,859	66.6%	4,480	61.2%	4,447	60.9%	区分\年度	H22	H23	H24	受入台数	4,581台	4,620台	4,368台	一日平均台数	12.5台	12.6台	12.0台	項目\年度	H22	H23	H24	出動件数	477件	421件	251件	III		
種	H22		H23		H24																																																																			
項	延患者数	病床利用率	延患者数	病床利用率	延患者数	病床利用率																																																																		
ICU	1,650	56.5%	1,491	50.9%	1,453	49.8%																																																																		
CCU	788	72.0%	816	74.3%	859	78.4%																																																																		
HCU	2,421	73.7%	2,173	66.0%	2,135	65.0%																																																																		
計	4,859	66.6%	4,480	61.2%	4,447	60.9%																																																																		
区分\年度	H22	H23	H24																																																																					
受入台数	4,581台	4,620台	4,368台																																																																					
一日平均台数	12.5台	12.6台	12.0台																																																																					
項目\年度	H22	H23	H24																																																																					
出動件数	477件	421件	251件																																																																					
21	<p>(2) 心臓血管疾患医療</p> <p>循環器内科、心臓血管外科および救命救急センターが連携し、専門的医療を提供する体制の充実を図る。</p> <p>さらに病棟連携など地域医療機関との関係をいっそう深める。</p>	III	II			<p>(2) 心臓血管疾患医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 心臓血管外科医の確保に努めるとともに、大学との連携により診療体制の充実を図る。 	<p>(2) 心臓血管疾患医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 常勤外科医師数が減少する中、大学病院の全面的な支援を受け、必要な診療体制を維持した。 <p>【心臓血管手術症例数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虚血性心疾患</td> <td>34</td> <td>20</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>弁膜症</td> <td>34</td> <td>29</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>大動脈</td> <td>21</td> <td>14</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>17</td> <td>21</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>106</td> <td>84</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	虚血性心疾患	34	20	12	弁膜症	34	29	32	大動脈	21	14	4	その他	17	21	29	合計	106	84	77	III																																								
区分\年度	H22	H23	H24																																																																					
虚血性心疾患	34	20	12																																																																					
弁膜症	34	29	32																																																																					
大動脈	21	14	4																																																																					
その他	17	21	29																																																																					
合計	106	84	77																																																																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																				
						<p>【手術・検査件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心カテ</td> <td>944</td> <td>849</td> <td>999</td> </tr> <tr> <td>PCI※</td> <td>379</td> <td>374</td> <td>387</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PCI：冠動脈形成術</p> <p>【循環器系】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アブレーション</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>PMI※</td> <td>43</td> <td>62</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>ICD※</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PMI：ペースメーカー埋込 ICD：植え込み型除細動器</p> <p>・ 狭心症・心筋梗塞地域連携パスの症例数を増やし、円滑に運用した。</p> <p>【狭心症・心筋梗塞パス運用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パス運用件数</td> <td>10件</td> <td>94件</td> </tr> <tr> <td>登録医師数</td> <td>41名</td> <td>120名</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年	H22	H23	H24	心カテ	944	849	999	PCI※	379	374	387	区分\年	H22	H23	H24	アブレーション	25	29	40	PMI※	43	62	66	ICD※	11	11	9	項目\年度	H23	H24	パス運用件数	10件	94件	登録医師数	41名	120名			
区分\年	H22	H23	H24																																											
心カテ	944	849	999																																											
PCI※	379	374	387																																											
区分\年	H22	H23	H24																																											
アブレーション	25	29	40																																											
PMI※	43	62	66																																											
ICD※	11	11	9																																											
項目\年度	H23	H24																																												
パス運用件数	10件	94件																																												
登録医師数	41名	120名																																												
22	(3) 母子周産期医療 地域周産期母子医療センターとして二次診療の24時間を通しての受け入れ体制を維持するため、スタッフの増員、労働環境の向上に努める。	III	III		<p>(3) 母子周産期医療</p> <p>・ 地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応出来る体制をとっている。現在の診療体制を維持、充実させるために、今後も継続して医師、助産師の確保、増員に努める。</p>	<p>(3) 母子周産期医療</p> <p>・ 地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応できる体制を維持確保した。現在の診療体制を維持、充実させるために、継続して医師、助産師の確保、増員に努めた結果、新たに助産師2名を採用することができた。</p> <p>【周産期母子医療センターの主な実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数</td> <td>435件</td> <td>462件</td> <td>457件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">年間 入院 者数</td> <td>NICU</td> <td>249名</td> <td>249名</td> <td>248名</td> </tr> <tr> <td>GCU</td> <td>421名</td> <td>421名</td> <td>462名</td> </tr> <tr> <td>産科</td> <td>583名</td> <td>651名</td> <td>593名</td> </tr> <tr> <td>母胎搬送件数</td> <td>56件</td> <td>61件</td> <td>58件</td> </tr> <tr> <td>新生児搬送件数</td> <td>54件</td> <td>72件</td> <td>83件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	分娩件数	435件	462件	457件	年間 入院 者数	NICU	249名	249名	248名	GCU	421名	421名	462名	産科	583名	651名	593名	母胎搬送件数	56件	61件	58件	新生児搬送件数	54件	72件	83件	III										
区分\年度	H22	H23	H24																																											
分娩件数	435件	462件	457件																																											
年間 入院 者数	NICU	249名	249名	248名																																										
	GCU	421名	421名	462名																																										
	産科	583名	651名	593名																																										
母胎搬送件数	56件	61件	58件																																											
新生児搬送件数	54件	72件	83件																																											
23	(4) がん診療拠点	III	III		(4) がん診療拠点	(4) がん診療拠点	IV																																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
	地域がん診療拠点病院として地域の医療従事者を含めた研修に積極的に取り組む。がん連携パスなどによって地域連携を推進し、がん診療の均てん化を図る。					<ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療センターの運用を本年秋に開始することにより、これまで以上に短時間で負担が少ない治療が可能となる。稼働に向けて、技師の研修や地域医療従事者へのPR活動などを行う。 がん地域連携クリニカルパスの運用拡大を図る。 がん治療についての院内外の研修会・講演会を積極的に開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療システム（ノバリスTx）を導入し、平成24年12月から高精度放射線治療センター運用を開始することができた。また、平成25年度中の本格運用へ向けて照射量や減衰などのデータ収集を行うとともに担当する医療スタッフのスキルアップ支援や、地域医療従事者等へのPR活動を行った。 がん地域連携クリニカルパスについては、当院独自に運用を開始していたが、県や都道府県がん診療連携拠点病院（岐阜大学医学部附属病院）、他の地域がん診療連携拠点病院とともにより広域的な運用が可能な、県内統一のパスを導入し、運用を開始した。 市民公開講座など院内外の講演会や研修会において高精度放射線治療や化学療法など、がん治療に関するテーマを積極的に取り上げ、情報発信を行った。 <p>【がん患者（入院）等の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数</td> <td>1,338人</td> <td>1,274人</td> <td>1,620人</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>1,052件</td> <td>1,025件</td> <td>1,064件</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>884件</td> <td>779件</td> <td>979件</td> </tr> <tr> <td>放射線施行回数</td> <td>3,804件</td> <td>3,177件</td> <td>3,535件</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H22	H23	H24	患者数	1,338人	1,274人	1,620人	手術件数	1,052件	1,025件	1,064件	化学療法件数	884件	779件	979件	放射線施行回数	3,804件	3,177件	3,535件			
項目\年度	H22	H23	H24																											
患者数	1,338人	1,274人	1,620人																											
手術件数	1,052件	1,025件	1,064件																											
化学療法件数	884件	779件	979件																											
放射線施行回数	3,804件	3,177件	3,535件																											
24	(5) 精神科医療・感染症医療 急性期総合病院に併設した特徴を生かし、救急患者や他の医療機関で対応の困難な患者の治療を行える体制の充実を図る。	III	IV		<p>(5) 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症病棟について引き続き、受け入れ体制を維持する。 精神科病棟を開設し、身体合併症を併発した精神科患者の治療を積極的に行う。 	<p>(5) 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核、感染症病棟については、呼吸器内科医師5名を確保することで、受け入れ体制を維持した。 必要な医師5名を確保し、平成24年5月から精神科病床を再開することができた。 <p>【患者の受け入れ実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病床\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核、感染症</td> <td>1,243人</td> <td>2,358人</td> <td>1,933人</td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>-人</td> <td>-人</td> <td>5,400人</td> </tr> </tbody> </table>	病床\年度	H22	H23	H24	結核、感染症	1,243人	2,358人	1,933人	精神科	-人	-人	5,400人	IV											
病床\年度	H22	H23	H24																											
結核、感染症	1,243人	2,358人	1,933人																											
精神科	-人	-人	5,400人																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
25	(6) 緩和ケア 緩和ケア認定看護師、がん疼痛認定看護師を中心に、地域の医療機関と連携した緩和ケアを提供していく。	IV	III			(6) 緩和ケア ・ 緩和ケア病棟入院患者の積極的な受入れに努め、入院患者のさらなる増加を図る。 ・ 在宅緩和ケア体制構築のため、診療所・訪問看護ステーション・ケアマネジャーなどとの連携を推進する。	(6) 緩和ケア ・ 緩和ケア病棟入院患者の積極的な受入れに努め、入院患者のさらなる増加を図った。 【緩和ケアの患者動向】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,332人</td> <td>3,777人</td> <td>3,981人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>72人</td> <td>101人</td> <td>138人</td> </tr> </tbody> </table> ・ 在宅緩和ケア体制構築のため、講演会、研修会、勉強会を通じ、地域の人材を育成するとともに診療所・訪問看護ステーション・ケアマネジャーなどとの連携を推進した。 緩和ケア市民公開講座 7/21 緩和ケア講演会 4/12、10/4 緩和ケア研修会（医師対象） 9/8、9/9 緩和ケア勉強会 5/10、6/14、8/9、11/8、12/6、1/10、2/7、3/7の全7回	区分\年度	H22	H23	H24	入院患者数	2,332人	3,777人	3,981人	外来患者数	72人	101人	138人	III		
区分\年度	H22	H23	H24																			
入院患者数	2,332人	3,777人	3,981人																			
外来患者数	72人	101人	138人																			

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
1-2 調査研究事業
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進

中期目標	3-2 調査研究事業 3-2-1 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 県及び東濃地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																
26	<p>(1) 治験や調査研究事業に積極的に参画できるように治験管理事務、治験コーディネーター業務を推進するための人材を育成し体制の強化、受託件数の増加を図る。</p> <p>平成20年度実績 1件 平成21年度見込 1件</p> <p>平成26年度に向け院内の体制を強化し、受託件数の増加に努める。</p>	III	III			<p>(1) 治験コーディネーターを中心として、院内の体制を整備し、治験や調査研究事業に積極的に参画し、受託件数の増加を図る。</p> <p>平成23年度実績 1件 平成24年度目標 2～3件</p>	<p>(1) 治験管理部門が中心となり、治験募集と担当診療科調整の支援を行うため、医薬品開発業務受託機関から照会のあった案件について、該当医師に情報提供を行った。(平成24年度実績：9件)</p> <p>【治験件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>12件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 提供する医療の質及び地域の医療水準の向上等を図るため、調査研究事業に積極的に取り組んだ。年間の治験・倫理委員会申請件数は27件(迅速審査を含む)で前年度の14件に比較し92.9%の伸びとなっている。</p>	区分\年度	H22	H23	H24	治験実施件数	1件	1件	1件	治験症例件数	12件	0件	0件	受託研究件数	1件	1件	1件	III		
区分\年度	H22	H23	H24																							
治験実施件数	1件	1件	1件																							
治験症例件数	12件	0件	0件																							
受託研究件数	1件	1件	1件																							

1-2-2 診療等の情報の活用

中期目標	<p>3-2-2 診療等の情報の活用</p> <p>電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を岐阜県立多治見病院で提供する医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。</p>
------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
27	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>医療情報システムに蓄積された各種医療データを分析し、医療情報として提供することにより院内の医療従事者の総合的なレベルアップを図る。</p> <p>また、その情報を地域の医療機関へ提供することにより、地域医療の活性化を図るための仕組みづくりを検討する。</p>	III	III			<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>・ DPCデータを基に、他の病院とのベンチマーク比較分析などを進め、診療上の問題点を把握し、より効率的な診療業務の実施を図る。</p>	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>・ 従来のDPC分析のための「DPC委員会」、査定返戻や算定についての検討を行う「保険委員会」を統合し、報酬算定、DPC分析を統括して行うため、新たに「診療報酬委員会」を設置し、検討を行った。</p> <p>・ DPCデータ及び公表された機能評価係数につ</p>	IV		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<ul style="list-style-type: none"> 人件費などの一般管理経費も含めたコストパフォーマンスについて分析を行い、より効率的な経営の確保を図る。 DPCデータを活用した臨床指標の項目検討を進め、指標項目の追加、公表を図る。 診療情報管理士の資格取得を進め、診療情報の管理・活用の充実を図る。 大規模災害時において過去の診療録データを失わないようなシステム構築を検討する。 医療連携関連データ（紹介・逆紹介状況、高度医療機器・開放型病床利用状況等）を医療連携推進協議会等を通じ、医師会をはじめとする医療関係機関、行政機関と情報を共有し、医療機関ごとの役割の明確化や地域連携バスの活用等により、医療連携の推進を図る。 	<p>いて、他院との比較分析を行い、当院の課題についての検討を行った。分析検討結果は、診療報酬委員会、管理会議等へ報告し、院内周知、情報共有を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> また、診療報酬改定による影響が予想された抗がん剤治療について、呼吸器疾患に関する検討会を実施した。 <p>【検討会の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均在院日数と診療単価、効率性係数 近隣病院との手術指数、診療密度比較など DPCデータの分析、比較検討を重ねた結果、機能評価係数Ⅱを上昇させることができた。 分析システムへの一般管理費等の登録の結果、費用配分方法などの課題が判明した。次年度以降、これらの課題について検討を行う。 厚生労働省のDPC評価分科会から内容案が示され、参考データの作成を行った。今後、公表様式等の正式通知を待って公表を行う。 試験合格、採用により新たに院内で3名の診療情報管理士を確保した。また、資格取得のために必要な研修受講について、すでに受講中の3名とあわせて新たに4名の支援を行った。 診療録データを院外でバックアップするシステムについて検討を行った。 医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政機関等の代表者を集め、4半期に1度のペースで地域医療連携推進協議会を開催し、紹介・逆紹介、高度医療機器利用、開放型病床利用等の各種データを提供し、急性期病院と開業医、他の医療機関との地域における役割、医療資源の有効活用について検討を重ねた。 			
28	<p>(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <p>集積したエビデンスをカンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するため、診療録管理体制</p>	III	III			<p>(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 集積したエビデンスに基づき主な疾患の治療成績を把握して整理、検討し、各症例についてはカ 	III			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	の充実を図り、院内診療データを集積整理する。多職種による合同カンファレンスなどにより診療内容を共有化し、治療成績などの公表を推進する。また、一部を他の医療機関へ情報提供する。					ンファレンスで評価を行い成績向上に努める。 ・ 学会などが主導する疾患別登録事業、がん登録事業に参加し、情報提供を行う。 ・ 年報やホームページなどで診療科の治療実績を公表する。	デンスに基づき評価を行い成績向上に努めた。 ・ 学会などが主導する疾患別登録事業、がん登録事業に参加し、情報の提供を行った。 ・ 年報やホームページで診療科の治療実績を公表した。			

1-2-3 保健医療情報の提供・発信

中期目標	3-2-3 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
29	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 一般市民向けの公開講座や医療に関する相談会を定期的に開催し、保健医療・各種福祉制度に関する情報の提供や発信を行う。 ○市民公開講座 平成20年度実績 1件 脳卒中について(参加者137名) 平成21年度見込 1件 骨粗しょう症について(参加者132名) 今後も年一回以上、より市民の関心度が高いテーマを厳選し、開催する。	III	III			(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・ 一般市民向けの公開講座を開催し、医療に対する知識や関心を高める。 ・ 市民から要望のある「出前講座」の開催を検討する。	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・ 一般市民向けの公開講座を開催した。 ○市民公開講座 9/22 「わかる！放射線治療と肺がん治療」 参加者数：237名 ○緩和ケア市民公開講座 7/21 「輝いて生きるために～死とどう向き合うか」アルフォンス・デーケン氏(上智大学名誉教授) 参加者数：358名 ・ 循環器疾患をテーマとした「出前講座」を地域の会合とタイアップして開催した。 6/7 多治見市池田町 聴講者23名 7/22 " 笠原町 " 43名 8/6 " 滝呂町 " 24名 8/25 " 西坂町 " 34名 9/24 " 根本町 " 21名	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<ul style="list-style-type: none"> 東濃支部ソーシャルワーカー研修会（情報交換会）を継続していくとともに、この研修会で得られた情報を患者や家族の医療相談に活用する。 岐阜県難病団体連絡協議会の主催する難病医療福祉相談会などに、福祉相談員として参加する。 	10/27 " 大畑町 " 38名 11/11 " 明和町 " 50名 総計 233名 <ul style="list-style-type: none"> 10月28日に開催した病院秋祭りにおいて無料健康相談を行った。 岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部ソーシャルワーカー研修会（情報交換会）に参加した。（偶数月に開催）10月には当院を会場に実施した。 4/28 タジミ第1病院、6/16 中津川市民病院、8/18 市立恵那病院、10/27 当院、12/15 東濃厚生病院、2/16 高井病院 岐阜県難病団体連絡協議会が6月1日に開催され、社会福祉士1名が出席し意見交換を行った。 			
30	(2) 保健医療、健康管理等の情報提供 病院のホームページで最新の情報を発信するとともに関係機関や医療情報サイト等に情報を提供する。さらに病院広報誌では、掲載内容を厳選し、幅広い年齢層に対し最新の情報を提供する。	III	III		(2) 保健医療、健康管理等の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> 病院広報誌「けんびょういん」を発行し、最新の医療情報を発信する。 地域情報誌等への医療情報の提供に積極的に協力する。 ホームページにおいて、常に新鮮な情報を提供するために、逐次内容を更新する。 	(2) 保健医療、健康管理等の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> 病院広報誌「けんびょういん」を7月及び2月に発行し最新の情報を発信した。 新聞、地域情報誌の医療特集記事に寄稿した。 研修医の活動内容を紹介する動画を作成（10本/年）し、ホームページ上で公開するなど、常に新鮮な情報を提供した。また、ホームページのトップページデザインを一新したことにより閲覧者の目的に応じた内容検索が容易となり、利便性が向上した。 	III			

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-3 教育研修事業
 1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実

中期 目標	<p>3-3 教育研修事業</p> <p>3-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>研修医等の研修施設として認められた病院（臨床研修病院）として、臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医）の積極的な受入れを行なうこと。</p> <p>名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院や県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を活かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項															
31	<p>(1) 質の高い医療従事者の養成</p> <p>質の高い医療従事者養成のため、独自の臨床プログラムを開発し、その推進体制を強化する。</p>	III	III			<p>(1) 質の高い医療従事者の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の医療技術や知識習得のため、学会や講習会への参加に必要な費用を負担するなどの支援を行う。 外部から講師を招聘して講演会等を開催し、専門領域から一般領域まで幅広く知識を習得し、レベルアップを図る。 <p>・ 初期臨床研修について、臨床研修センターの機能を充実させ研修医の資質向上を推進するとともに、研修医が求める臨床研修体制に向け改善を推進する。</p> <p>・ 研修医を対象とした「症例検討会」、「各診療科部長による講義」及び「早朝講義」を定期的で開催する。</p>	<p>(1) 質の高い医療従事者の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院が経費を負担する等の支援を行い各種学会、講習会等への参加を奨励した。(1人年2回まで支援) 院内で外部講師を招へいし、医師等を対象とした講演会を実施した。 <p>【講演会等開催実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>講演会等名</th> <th>出席人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24. 9. 13</td> <td>医療安全講演会</td> <td>419人</td> </tr> <tr> <td>H24. 10. 3</td> <td>感染対策講演会</td> <td>472人</td> </tr> <tr> <td>H24. 10. 19</td> <td>東濃DPC研究会</td> <td>110人</td> </tr> <tr> <td>H25. 3. 21</td> <td>救急医療講演会(研修医対象)</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 初期臨床研修医の意見や要望を臨床研修センターで集約し、毎月の研修管理委員会にて検討を行った。検討した内容を臨床プログラムに反映させることにより、研修医が求める臨床研修体制の確立に努めた。</p> <p>・ 研修医に対し、各診療科部長による実践的な講義を行った。(毎月2診療科)</p> <p>・ 研修医を対象とした内科症例検討会を月1回開催し、研修医自らが症例提示を行った。</p> <p>・ 毎週金曜日に研修医を対象とした早朝勉強会を実施した。月に1回は、研修医の要請した院内医師を講師として実施した。</p> <p>・ 研修体制の充実等により、平成25年度の臨床研修医を定数上限である9名確保することがで</p>	開催日	講演会等名	出席人数	H24. 9. 13	医療安全講演会	419人	H24. 10. 3	感染対策講演会	472人	H24. 10. 19	東濃DPC研究会	110人	H25. 3. 21	救急医療講演会(研修医対象)	19人	III		
開催日	講演会等名	出席人数																							
H24. 9. 13	医療安全講演会	419人																							
H24. 10. 3	感染対策講演会	472人																							
H24. 10. 19	東濃DPC研究会	110人																							
H25. 3. 21	救急医療講演会(研修医対象)	19人																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項													
							きた。 【初期臨床研修医数】 (各年度末時点)																
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>13人</td> <td>18人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	医師	13人	18人	17人	歯科医師	2人	2人	2人				
区分\年度	H22	H23	H24																				
医師	13人	18人	17人																				
歯科医師	2人	2人	2人																				
32	(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等 後期研修医（レジデント）に対しては、多治見病院独自の研修と大学病院と連携した研修等、魅力あるプログラムを開発し運用推進していく。	III	III			(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等 ・ 後期研修1年目の研修医に対し、希望により複数診療科での研修を行う。 ・ 各診療科においては、専門領域の疾患の診断と治療の指導はもとより研究会、学会参加や学会発表の支援を行う。	(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等 ・ 後期研修1年目の研修医に対し、希望する複数の診療科にて研修を行った。 ・ 各診療科で専門領域の疾患の診断と治療はもとより、研究会、学会参加や学会発表の支援を行った。 【後期研修医（レジデント）数】 (各年度末時点)	III															
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>11人</td> <td>13人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	医師	11人	13人	12人	歯科医師	1人	1人	1人				
区分\年度	H22	H23	H24																				
医師	11人	13人	12人																				
歯科医師	1人	1人	1人																				

1-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施

中期目標	3-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施 県内に就学している看護学生の実習受入れ、救急救命士の新規養成及び再教育にともなう病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項							
33	(1) 医学生、看護学生の実習受入れ 看護学生に対しては実習の積極的な受け入れ、当院の人員確保に努める。 ○看護学生に対する教育 平成20年度実績 大学77名、看護学校等136名 平成21年度見込 大学73名、看護学校等176名 今後も積極的に看護生に対する実習を定期的に実施する。	III	III			(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ ・ 医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から積極的に受け入れる。(各大学から年間2～3名程度)	(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ ・ 医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から積極的に受け入れた。 【医学生の受け入れ状況】	III									
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>受け入れ元</th> <th>受け入れ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名古屋大学</td> <td>実習：1名 見学：4名</td> </tr> <tr> <td>名古屋市立大学</td> <td>実習：8名 見学：21名</td> </tr> </tbody> </table>	受け入れ元	受け入れ状況	名古屋大学	実習：1名 見学：4名	名古屋市立大学	実習：8名 見学：21名				
受け入れ元	受け入れ状況																
名古屋大学	実習：1名 見学：4名																
名古屋市立大学	実習：8名 見学：21名																

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																											
						<p>岐阜大学 実習：1名 見学：7名</p> <p>※医学生に対するPRのためポートメッセ名古屋、じゅうろくプラザで開催された合同ガイダンスに参加</p> <p>・ 看護学生についても、専門学校や大学からの実習生を積極的に受け入れる。</p> <table border="1"> <tr> <td>多治見看護専門学校</td> <td>1～3年生 随時 延300名程度</td> </tr> <tr> <td>県立看護大学</td> <td>1年生 基礎（2名） 3年生 母性（30名程度） 小児（10名程度） 成熟期（10名程度） 4年生 卒研（2～3名程度）</td> </tr> <tr> <td>中京学院大学</td> <td>1年生 20名程度 2年生 35名程度</td> </tr> <tr> <td>東濃看護専門学校</td> <td>3年生 30名程度</td> </tr> </table> <p>・ 看護学生について、積極的に実習を受け入れた。 【看護学生受け入れ実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受け入れ元</th> <th>受け入れ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多治見看護専門学校</td> <td>1年生 117名 2年生 120名 3年生 102名 計339名</td> </tr> <tr> <td>県立看護大学</td> <td>1年生（基礎） 2名 3年生（母性） 26名 （小児） 9名 （成熟期） 10名 計47名</td> </tr> <tr> <td>中京学院大学</td> <td>1年生（基礎I） 22名 2年生（基礎II） 24名 （成人I） 20名 3年生（成人II） 33名 計99名</td> </tr> <tr> <td>東濃看護専門学校</td> <td>3年生 40名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 広島大学大学院専門看護師コース（がん看護分野）の学生1名と静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程（緩和ケア分野）の学生2名を受け入れた。</p> <p>【その他（コメディカル）の受け入れ状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受け入れ部署</th> <th>受け入れ元・受け入れ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤部</td> <td>名城大学3名、金城学院大学1名、愛知学院大学1名 計5名</td> </tr> <tr> <td>中央放射線部</td> <td>岐阜医療科学大学9名、東海医療技術専門学校3名 計12名</td> </tr> <tr> <td>臨床検査科</td> <td>岐阜医療科学大学10名、メイトウホスピタル2名、名古屋大学1名、信州大学1名 計14名</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション科</td> <td>名古屋大学12施設 計17名</td> </tr> </tbody> </table>	多治見看護専門学校	1～3年生 随時 延300名程度	県立看護大学	1年生 基礎（2名） 3年生 母性（30名程度） 小児（10名程度） 成熟期（10名程度） 4年生 卒研（2～3名程度）	中京学院大学	1年生 20名程度 2年生 35名程度	東濃看護専門学校	3年生 30名程度	受け入れ元	受け入れ状況	多治見看護専門学校	1年生 117名 2年生 120名 3年生 102名 計339名	県立看護大学	1年生（基礎） 2名 3年生（母性） 26名 （小児） 9名 （成熟期） 10名 計47名	中京学院大学	1年生（基礎I） 22名 2年生（基礎II） 24名 （成人I） 20名 3年生（成人II） 33名 計99名	東濃看護専門学校	3年生 40名	受け入れ部署	受け入れ元・受け入れ状況	薬剤部	名城大学3名、金城学院大学1名、愛知学院大学1名 計5名	中央放射線部	岐阜医療科学大学9名、東海医療技術専門学校3名 計12名	臨床検査科	岐阜医療科学大学10名、メイトウホスピタル2名、名古屋大学1名、信州大学1名 計14名	リハビリテーション科	名古屋大学12施設 計17名			
多治見看護専門学校	1～3年生 随時 延300名程度																																				
県立看護大学	1年生 基礎（2名） 3年生 母性（30名程度） 小児（10名程度） 成熟期（10名程度） 4年生 卒研（2～3名程度）																																				
中京学院大学	1年生 20名程度 2年生 35名程度																																				
東濃看護専門学校	3年生 30名程度																																				
受け入れ元	受け入れ状況																																				
多治見看護専門学校	1年生 117名 2年生 120名 3年生 102名 計339名																																				
県立看護大学	1年生（基礎） 2名 3年生（母性） 26名 （小児） 9名 （成熟期） 10名 計47名																																				
中京学院大学	1年生（基礎I） 22名 2年生（基礎II） 24名 （成人I） 20名 3年生（成人II） 33名 計99名																																				
東濃看護専門学校	3年生 40名																																				
受け入れ部署	受け入れ元・受け入れ状況																																				
薬剤部	名城大学3名、金城学院大学1名、愛知学院大学1名 計5名																																				
中央放射線部	岐阜医療科学大学9名、東海医療技術専門学校3名 計12名																																				
臨床検査科	岐阜医療科学大学10名、メイトウホスピタル2名、名古屋大学1名、信州大学1名 計14名																																				
リハビリテーション科	名古屋大学12施設 計17名																																				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																									
						【学生の实習受入状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>11人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>424人</td> <td>452人</td> <td>525人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>21人</td> <td>57人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>456人</td> <td>519人</td> <td>583人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	医学生	11人	10人	10人	看護学生	424人	452人	525人	コメディカル	21人	57人	48人	合計	456人	519人	583人									
区分\年度	H22	H23	H24																																
医学生	11人	10人	10人																																
看護学生	424人	452人	525人																																
コメディカル	21人	57人	48人																																
合計	456人	519人	583人																																
34	(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 救急救命士に対しては、定期的な講習及び病院実習を実施し医療技術の向上を図る。 ○救急救命士に対する教育 平成20年度実績 生涯教育実習74名、 気管挿管実習5名、薬剤投与実習1名 平成21年度見込 生涯教育実習70名、 気管挿管実習5名、薬剤投与実習2名 今後も積極的に救急救命士に対する実習を定期的 に実施する。	III	III			(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 ・ 生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習を定期的 に実施し、医療技術の向上を図る。 【研修実績の年度比較】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td> <td>76名</td> <td>66名</td> <td>51名</td> </tr> <tr> <td>就業前実習</td> <td>5名</td> <td>3名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>気管挿管実習</td> <td>6名</td> <td>5名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>3名</td> <td>5名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> 【救急救命士の実習受入状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90人</td> <td>79人</td> <td>64人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	生涯教育実習	76名	66名	51名	就業前実習	5名	3名	4名	気管挿管実習	6名	5名	8名	薬剤投与実習	3名	5名	1名	H22	H23	H24	90人	79人	64人	III		
区分\年度	H22	H23	H24																																
生涯教育実習	76名	66名	51名																																
就業前実習	5名	3名	4名																																
気管挿管実習	6名	5名	8名																																
薬剤投与実習	3名	5名	1名																																
H22	H23	H24																																	
90人	79人	64人																																	

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-4 地域支援事業
 1-4-1 地域医療への支援

中期目標	3-4 地域支援事業 3-4-1 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を行うこと。
------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
35	(1) 地域医療水準の向上 平成20年9月より開放型病床の登録医を募り、 5床の開放型病床を稼働。医科歯科合わせて207	III	III			(1) 地域医療水準の向上 ・ 地域医療連携推進協議会の開催や、医療連携登録医等への継続的な訪問活動を通じて、医療連携	III				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																			
	<p>名の登録医により、1年間に21名の共同診療を実施した。二次医療圏における連携強化を図り登録医師促進、開放型病床・高度医療機器の共同利用を推進する。</p> <p>東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科開業医との「お産ネットワーク」を結び、密接な連携のもと、小児科医と共にハイリスクの周産期医療を担っている。地域医療機関と共に安心して出産ができる体制づくりを推進する。</p>					<p>の強化、各医療機関の役割分担の明確化を図り、紹介率60%、逆紹介率75%以上の恒常的な達成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度医療機器や開放型病床の共同利用について継続的にPRし、利用を促進する。 <p>定期的な医療連携講演会及び研修会を開催し、地域医療の質の向上に努める。</p> <p>東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科医との「お産ネットワーク」を結び、密接な連携のもと、小児科医と共にハイリスクの周産期医療を引き続き推進する。</p>	<p>者に医療連携の推進、高度医療機器、開放型病床の利用を呼びかけた。</p> <p>【紹介率・逆紹介率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>60.2%</td> <td>62.7%</td> <td>62.6%</td> </tr> <tr> <td>紹介実件数</td> <td>17,031件</td> <td>17,215件</td> <td>18,053件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>79.2%</td> <td>83.8%</td> <td>82.8%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実件数</td> <td>20,241件</td> <td>20,842件</td> <td>21,023件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【高度医療機器の共同利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>580件</td> <td>610件</td> <td>534件</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>550件</td> <td>548件</td> <td>478件</td> </tr> <tr> <td>RI</td> <td>156件</td> <td>169件</td> <td>110件</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>90件</td> <td>92件</td> <td>91件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【開放型病床利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>8件</td> <td>10件</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療連携講演会、症例検討会等を開催し、地域医療の質の向上に努めた。</p> <p>【医療連携講演会】</p> <p>10/11「アルツハイマー型認知症に対する治療薬の選択」 1/11「糖尿病における医療連携パスの運用について」</p> <p>【緩和ケア研修会】 9/8、9 【緩和ケア講演会】 4/12、10/4 【緩和ケア勉強会】 5/10、6/14、8/9、11/8、12/6、1/10、2/7、3/7 【地域連携パス合同委員会】 6/28、10/11、2/28</p> <p>東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科医との「お産ネットワーク」を結び、ハイリスクの周産期医療に対し、24時間365日体制で、安心して出産ができる環境の維持に努めた。</p>	区分\年度	H22	H23	H24	紹介率	60.2%	62.7%	62.6%	紹介実件数	17,031件	17,215件	18,053件	逆紹介率	79.2%	83.8%	82.8%	逆紹介実件数	20,241件	20,842件	21,023件	機器名\年度	H22	H23	H24	CT	580件	610件	534件	MRI	550件	548件	478件	RI	156件	169件	110件	PET	90件	92件	91件	区分\年度	H22	H23	H24	医科	0件	4件	0件	歯科	8件	10件	9件		
区分\年度	H22	H23	H24																																																										
紹介率	60.2%	62.7%	62.6%																																																										
紹介実件数	17,031件	17,215件	18,053件																																																										
逆紹介率	79.2%	83.8%	82.8%																																																										
逆紹介実件数	20,241件	20,842件	21,023件																																																										
機器名\年度	H22	H23	H24																																																										
CT	580件	610件	534件																																																										
MRI	550件	548件	478件																																																										
RI	156件	169件	110件																																																										
PET	90件	92件	91件																																																										
区分\年度	H22	H23	H24																																																										
医科	0件	4件	0件																																																										
歯科	8件	10件	9件																																																										

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
						<ul style="list-style-type: none"> 在宅緩和ケアについて、地域のケアマネージャーや診療所等と連携し、事例検討会の開催や入院の調整を行う。 精神科を設置している地域医療機関と東濃精神科医療連絡協議会を定期的を開催し、精神医療に関する情報交換を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅療養相談調整をするため、地域の在宅支援機関と連携し、退院前に支援機関を交えた合同カンファレンスを実施した。 【合同カンファレンス開催件数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>173件</td> <td>231件</td> <td>351件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 精神科を設置している地域医療機関と東濃精神科医療連絡協議会を定期的を開催した。4/27と10/13には、当院を会場として精神医療に関する情報交換を積極的に行った。（内容：事例検討、講演会、情報交換会・在宅への退院支援） 	H22	H23	H24	173件	231件	351件								
H22	H23	H24																			
173件	231件	351件																			
36	(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 へき地医療は、国民健康保険上矢作病院へ、医師を一人派遣しており、研修医も、月単位に一人ずつ、派遣している。今後も継続し、支援を推進する。	IV	II		(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険上矢作病院に対し、医師の派遣支援を継続する。 へき地医療に関しては、岐阜県へき地医療支援機構の求めに応じ、随時医師の派遣を行う。 	(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険上矢作病院へ医師を週1日（当直業務を含む）延べ52人、研修医を1ヶ月に1名ずつ5ヶ月間派遣した。 岐阜県へき地医療支援機構の求めに応じ、国民健康保険蛭川診療所へ4日間、各1名の医師を派遣した。 【他の医療機関への人的支援の状況】（延べ日数） <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先 医療機関名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国保上矢作病院</td> <td>94日</td> <td>100日</td> <td>114日</td> </tr> <tr> <td>国保蛭川診療所</td> <td>一日</td> <td>一日</td> <td>4日</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先 医療機関名	H22	H23	H24	国保上矢作病院	94日	100日	114日	国保蛭川診療所	一日	一日	4日	III		
派遣先 医療機関名	H22	H23	H24																		
国保上矢作病院	94日	100日	114日																		
国保蛭川診療所	一日	一日	4日																		

1-4-2 社会的な要請への協力

中期目標	3-4-2 社会的な要請への協力 岐阜県立多治見病院が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に積極的な協力を行うこと。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
37	医療に関する鑑定や調査、講師派遣などの社会的な要請に対する協力を行う。	III	III			<ul style="list-style-type: none"> 医療に関する鑑定や調査、講師派遣などの社会的な要請に対する協力を行う。 多治見看護専門学校に医師等を非常勤講師として派遣する。 近隣大学等に認定看護師を講師として派遣する。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門分野への講演・技術指導の要請に応じ近隣の病院・施設へ医師や認定看護師等を講師として派遣した。 多治見看護専門学校に医師、看護師、コメディカルを非常勤講師として派遣した。 県内外の大学や教育機関等へ、認定看護師、コメディカルを講師として派遣した。 <p>【講師等派遣の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>101人</td> <td>125人</td> <td>124人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>48人</td> <td>47人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>36人</td> <td>49人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>185人</td> <td>221人</td> <td>205人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	医師	101人	125人	124人	看護師	48人	47人	64人	コメディカル	36人	49人	17人	合計	185人	221人	205人	III		
区分\年度	H22	H23	H24																											
医師	101人	125人	124人																											
看護師	48人	47人	64人																											
コメディカル	36人	49人	17人																											
合計	185人	221人	205人																											

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
1-5 災害等発生時における医療救護
1-5-1 医療救護活動の拠点機能

中期 目標	3-5 災害等発生時における医療救護 3-5-1 医療救護活動の拠点機能 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受け入れや医療スタッフの現地派遣など本県或いは東濃地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
38	(1) (医療救護活動拠点機能確保、訓練実施) 岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。 そのため、日頃から実践的な災害医療訓練を定期的に行い医療救護活動の拠点となる病院としての機能を維持し災害発生時には患者の受け入れなど求めら	III	III			(1) 岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、本県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。 ・ 岐阜県災害拠点病院として大規模災害時にも迅速に対応できるよう救命救急センターを中心に受け入れ態勢をとる。また必要な設備、備品等を整備する。	(1) 岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、本県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。 ・ 岐阜県災害拠点病院として大規模災害時にも迅速に対応できるよう救命救急センターを中心に受け入れ体制をとり、必要な設備、備品等を整備した。	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	れる機能を発揮する。					<ul style="list-style-type: none"> 火災・地震を想定した防災訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 火災・地震を想定した防災訓練を実施した。 (11/8、2/7の2回) 大規模災害を想定した災害時資器材展開訓練を実施した。(3/3) 大規模災害等の緊急時に、職員の所在安否を職種、部署ごとに把握し、緊急招集がかけられるように緊急連絡システムのプログラムの充実を図った。 大規模災害時等にも通信手段を確保するため、インターネット回線の複数回線化を行った。 			

1-5-2 他県等の医療救護への協力

中期 目標	3-5-2 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
39	(1) 大規模災害発生時のDMATの派遣 大規模災害時に厚生労働省医政局からの要請に常時対応出来る体制をとり、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣する。	IV	IV			(1) 大規模災害発生時の災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣 <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省医政局の要請により災害派遣医療チーム（DMAT）を常時派遣できる体制をとる。 	(1) 大規模災害発生時の災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣 <ul style="list-style-type: none"> 医療救護活動の拠点機能を充実させるため、災害派遣医療チーム（DMAT）を2チームに増員し、必要な設備、備品を整備し、大規模災害時にも迅速に対応できる体制を整えた。 	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																							
40	(2) DMATの質と向上 大規模災害に対応できるよう災害派遣医療チーム(DMAT)は、国及び中部地区で定期的開催される講習会に参加し、質の向上と維持を図る。	III	III			(2) DMATの質の向上と維持 ・ 厚生労働省、中部地区、岐阜県などで開催する訓練に参加し、質の向上と維持を図る。	(2) 災害派遣医療チーム(DMAT)の質の向上と維持 ・ 厚生労働省、中部地区、岐阜県などで開催する訓練に参加し、質の向上と維持を図った。 【主なDMAT活動訓練実績】	III																									
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施期間</th> <th>訓練内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24.8.20</td> <td>DMAT連絡会議</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>H24.11.6</td> <td>中央自動車道恵那山トンネル総合防災訓練</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>H24.11.10、11</td> <td>第2回中部ブロック技能維持研修</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>H25.1.11</td> <td>DMAT連絡会議</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>H25.1.14</td> <td>Emergo Train System (岐阜DMAT研修会)</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>H25.1.23~26</td> <td>DMATチーム研修</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>H25.2.2、3</td> <td>第3回中部ブロック技能維持研修</td> <td>4名</td> </tr> </tbody> </table>	実施期間	訓練内容	参加人数	H24.8.20	DMAT連絡会議	2名	H24.11.6	中央自動車道恵那山トンネル総合防災訓練	4名	H24.11.10、11	第2回中部ブロック技能維持研修	1名	H25.1.11	DMAT連絡会議	1名	H25.1.14	Emergo Train System (岐阜DMAT研修会)	3名	H25.1.23~26	DMATチーム研修	5名	H25.2.2、3	第3回中部ブロック技能維持研修	4名		
実施期間	訓練内容	参加人数																															
H24.8.20	DMAT連絡会議	2名																															
H24.11.6	中央自動車道恵那山トンネル総合防災訓練	4名																															
H24.11.10、11	第2回中部ブロック技能維持研修	1名																															
H25.1.11	DMAT連絡会議	1名																															
H25.1.14	Emergo Train System (岐阜DMAT研修会)	3名																															
H25.1.23~26	DMATチーム研修	5名																															
H25.2.2、3	第3回中部ブロック技能維持研修	4名																															

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組
2-1 効率的な業務運営体制の確立
2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立

中期 目標	4 業務運営の改善及び効率化に関する事項
	4-1 効率的な業務運営体制の確立 4-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、法人の理事長のリーダーシップが発揮できる簡素で効果的な組織体制を確立すること。 ITの活用とアウトソーシングを進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
41	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のリーダーシップが発揮できる効率的・効果的な組織体制を構築する。	III	III			(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 ・ 医療環境の変化や住民の医療需要に的確に対応できるよう、経営企画機能の強化を図る。 ・ DPC環境下における病院収益向上を目指し、「医事課」の診療報酬部門の強化を図る。	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 ・ 医療環境の変化や住民の医療需要に的確に対応するため、経営分析や予測、各種広報の展開など、経営基盤の強化を図った。 ・ 医事課内に診療報酬担当を新設し、診療報酬請求の的確化と効率化を図った。	III		
42	(2) 各種業務のIT化の推進 病院独自のITインフラを再整備することで、情報到達に確実性を持たせ、ペーパーレス化、迅速化を図る。	III	III			(2) 各種業務のIT化の推進 ・ 電子カルテシステムを、より有効に活用するとともに診療業務、病院業務の効率化を図るための可搬端末導入に向け検討を行う。 ・ 医療総合情報システムや人事給与システムなど各種事務処理にITを活用することで、事務の合理化を図る。	(2) 各種業務のIT化の推進 ・ 電子カルテシステムの仕様や現場の要望を満たす可搬端末の選定、検討を行い、トライアル用の端末を試験的に運用した。 ・ 各種文書作成にかかる医師の負担を軽減するための医療用文書作成支援システム導入に向け、院内のネットワーク環境を整備し、平成25年度に運用が開始できるよう準備を行った。	III		
43	(3) アウトソーシング導入による合理化 定期的な業務についてはアウトソーシングを導入することにより各種事務合理化を進める。	III	III			(3) アウトソーシング導入による合理化 ・ 業務の性質や費用対効果等を勘案のうえ、アウトソーシングの導入を検討し、業務のスリム化を図る。	(3) アウトソーシング導入による合理化 ・ 物流管理システム（SPD）改善検討の中で日常業務の検証を行い、スリム化についても検討を行った。 ・ 外来駐車場の有料化に伴い発生する駐車場の料金収入の範囲内で、駐車場の管理運営業務全般を外部委託し、運営経費を削減した。	III		
44	(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 事務局職員の病院運営企画にかかわる能力向上の支援を行ったり、病院経営に寄与すると認められる職員が定年を迎えた場合の再雇用制度の積極的な活用を図り、経営企画機能を強化することで、経営効率の高い業務執行体制を確立する。	III	III			(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 ・ 病院の政策企画部門として、「経営企画課」が中心となって、高精度放射線治療センターや精神科病棟の効率的稼働に向け、広報活動等を推進するほか、病院経営における医療情報分析や需要予測の側面も強化する。 ・ 医事課に診療報酬担当を新設し、診療報酬算定の適確化と効率化を図る。 ・ 地域医療連携センターを中心に各診療科、中央放射線部、臨床検査科等が連携を密にし、高度医療機器の利用予約のあり方等について改善を図り、利用を促進する。 ・ 診療報酬請求事務に関する専門性向上のため、診療情報管理士の資格取得を支援する。	(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 ・ 高精度放射線治療センターや精神科病棟をオープンした。効率的な稼働に向け、各種広報活動を行った。 ・ 医事課に診療報酬担当を新設し、診療報酬算定の的確化と効率化を図った。 ・ 地域医療連携センターを中心に各診療科、中央放射線部、臨床検査科等が連携を密にし、高度医療機器の利用予約のあり方等について改善を図り、利用を促進した。 ・ 診療報酬請求事務に関する専門性向上のため、診療情報管理士の資格取得を支援した。	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
45	(5) 時差出勤制度の導入 女性医師を対象に時差出勤制度を導入することで、女性医師のより積極的な病院運営参画を促す。	III	III			(5) 時差出勤制度の導入 ・ 女性医師を中心とした希望者に対し、時差出勤や短時間勤務などの利用を進め、勤務の負担軽減を図ることで、ワークライフバランスの推進を図る。	(5) 時差出勤制度の導入 ・ 女性医師2名に短時間勤務制度（週20時間、30時間）を適用し、ワークライフバランスを支援し、女性医師の離職防止を図った。	III		

2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用

中期 目標	4-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用 医療需要の変化に迅速に対応し、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
46	(1) 弾力的運用の実施 医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した、診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。	III	III			(1) 弾力的運用の実施 ・ リハビリテーション科において、土曜診療を開始することにより入院患者に対する治療の質の改善を図る。 ・ 病棟ごとに専任の薬剤師を配置し、医師の負担軽減とより安全・適切な薬物療法の実施を図る。 ・ 専門看護師が複数の診療科における医療活動に携わることができるなど機動性が発揮出来る体制とする。	(1) 弾力的運用の実施 ・ リハビリテーション科に専従の医師を配置し、土曜診療を開始した。入院患者に対するリハビリ中断期間を短縮でき、治療効果が向上した。 ・ 病棟ごとに専任の薬剤師を配置した。入院時の持参薬確認、服薬指導に加え、医薬品に関する安全情報の収集、患者への治療方針説明時のフォローなどを行い、医師をはじめとした医療従事者の負担が軽減した。 ・ 専門看護師が複数の診療科における医療活動に携わることができるなど機動性が発揮できる体制を整えた。 ・ 看護体制の強化のため以下の取り組みを行った。 ①夜勤専従看護師の配置 救命センター及び救急外来の夜間勤務に従事する看護師の制度化	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項					
							②短時間就労制の実施 働き手のニーズに合わせて週1回、1日1時間以上の勤務を提案 ③職場復帰支援プログラムの実施 復帰に不安を抱えている離職者のための託児付き復帰支援制度を構築 ・ 地域医療連携推進協議会を年4回開催し、地域内の医療関係者等から意見聴取を行った。また、登録医を中心に訪問活動を実施し、医療ニーズの把握に努めた。 【地域医療連携推進協議会開催実績】 第1回(5/11)、第2回(8/23)、第3回(11/15)、第4回(2/22) 【登録医等への訪問実績】 109施設								
47	(2) 効果的な体制による医療の提供 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。	Ⅲ	Ⅳ		(2) 効果的な体制による医療の提供 ・医師事務作業補助者の業務の質の向上を図るとともに、「30:1」補助体制加算の早期導入を進める。	(2) 効果的な体制による医療の提供 ・ 医師事務作業補助者を増員し、8診療科の運用を15診療科に拡大するとともに「30:1」補助体制加算を導入した。外来の全診療科へ配置し、文書作成オーダー入力業務などを補佐し、医師の業務負担軽減を図った。 また、病棟事務補助者を9名から11名に増員し、看護師の業務負担軽減を図った。 【医師事務作業補助者配置部署】 <table border="1" data-bbox="1344 1050 1832 1417"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 歯科口腔外科 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 歯科口腔外科 耳鼻いんこう科 小児科 </td> </tr> </tbody> </table>	H22	H23	H24	<ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 	<ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 歯科口腔外科 	<ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 歯科口腔外科 耳鼻いんこう科 小児科 	Ⅲ		
H22	H23	H24													
<ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 	<ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 歯科口腔外科 	<ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 歯科口腔外科 耳鼻いんこう科 小児科 													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項															
						<ul style="list-style-type: none"> 連携コーディネーターによる連携パスの普及や運用の推進を継続するとともに連携室と相談室との一体化を図り、連携センターの充実、安定した紹介患者受入れなど、連携強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚科 中央放射線科 精神科 神経内科 眼科 																		
						<p>【医師・看護師事務作業補助者数】(各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者 (医療クラーク)</td> <td>7人</td> <td>16人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>病棟事務補助者 (看護クラーク)</td> <td>8人</td> <td>9人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15人</td> <td>25人</td> <td>35人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	医師事務作業補助者 (医療クラーク)	7人	16人	24人	病棟事務補助者 (看護クラーク)	8人	9人	11人	合計	15人	25人	35人	<ul style="list-style-type: none"> 連携パスコーディネーターを中心に地域医療連携パスの普及や運用の促進を行った。特に、狭心症・心筋梗塞パスの運用件数増加や、新たにスタートした糖尿病パスの普及に努めた。また独自に運用していた5大がんパスの県内統一様式への移行に向け登録医への訪問活動に尽力した。 地域医療連携センターの執務室を統合したことにより、地域医療連携パス適用者に関する紹介、逆紹介の情報が担当間でフレキシブルに共有できるようになった。迅速な対応が可能となったとともに、各種統計データの作成、分析が円滑に行えるようになった。 入院案内センターへ派遣職員を配置し、円滑な入院案内とこれによる医療職の負担軽減、患者サービスの向上を図った。同様に診療録管理室への配置により、円滑な院内がん登録作業の遂行を図った。 		
区分\年度	H22	H23	H24																						
医師事務作業補助者 (医療クラーク)	7人	16人	24人																						
病棟事務補助者 (看護クラーク)	8人	9人	11人																						
合計	15人	25人	35人																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																														
48	(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置 3法人間の人事交流により（人材活用のネットワーク化）適正な職員配置を確保する。	III	III			(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置 （人材活用のネットワーク化） ・ 適正な職員確保及び配置を図るため、地方独立 行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立 行政法人岐阜県立下呂温泉病院との間で、人事交 流調整を引き続き進める。特に看護師、薬剤師、 臨床検査技師といった医療技術職員を相互に派 遣し、各地域における医療サービスの水準を維持 する。	(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置 （人材活用のネットワーク化） 【職員の他法人への出向状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>7人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> (派遣先、職種別内訳) <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂温泉病院</td> <td>臨床検査技師 1名</td> </tr> </tbody> </table> 【他法人職員の受入状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>6人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8人</td> <td>5人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> (派遣元、職種別内訳) <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣元</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県総合医療センター</td> <td>薬剤師 1名</td> </tr> <tr> <td>下呂温泉病院</td> <td>看護師 1名</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	医師	0人	0人	0人	コメディカル	7人	3人	1人	合計	7人	3人	1人	派遣先	人数及び職員の内訳	下呂温泉病院	臨床検査技師 1名	区分\年度	H22	H23	H24	医師	0人	0人	0人	看護師	2人	2人	1人	コメディカル	6人	3人	1人	合計	8人	5人	2人	派遣元	人数及び職員の内訳	岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名	下呂温泉病院	看護師 1名	III		
区分\年度	H22	H23	H24																																																					
医師	0人	0人	0人																																																					
コメディカル	7人	3人	1人																																																					
合計	7人	3人	1人																																																					
派遣先	人数及び職員の内訳																																																							
下呂温泉病院	臨床検査技師 1名																																																							
区分\年度	H22	H23	H24																																																					
医師	0人	0人	0人																																																					
看護師	2人	2人	1人																																																					
コメディカル	6人	3人	1人																																																					
合計	8人	5人	2人																																																					
派遣元	人数及び職員の内訳																																																							
岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名																																																							
下呂温泉病院	看護師 1名																																																							

2-1-3 人事評価システムの構築

中期 目標	4-1-3 人事評価システムの構築 職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験や勤務実績等を反映させた公平で客観的な人事評価制度の構築を図り、中期目標の期間の最終年度までに試行運用を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
49	職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の 人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的	III	III			職員の勤務意欲を高めるため、職員の実績や能力 を職員の給与に反映する公正で客観的な人事評価	職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の 人材育成、人事管理に活用するため、コンサルタン	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	な人事評価制度を構築する。また、中期目標の期間内に当該制度の試行を実施する。					制度の構築に向けて、コンサルタントの活用も含め、具体的な検討に着手する。	トへ業務委託し、当院独自の制度の構築を検討した。			

2-1-4 事務部門の専門性の向上

中期 目標	4-1-4 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
50	<p>病院特有の事務に精通し、法人の事務及び経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保するため、企業会計、庁舎管理、医事会計、電子カルテシステム等院内各分野に精通した事務局職員を計画的に採用し育成する。</p> <p>また、診療報酬事務、病院経営等の専門研修を実施し事務部門の総合的な専門性の向上を図る。</p>	III	III			<ul style="list-style-type: none"> 医事課に診療報酬担当を新設し、診療報酬算定の適確化と効率化を図る。 診療報酬請求事務に関する専門性向上のため、診療情報管理士の資格取得を支援する。 経営管理や人事・労務管理等に関する研修会への参加を積極的に進める。 プロパー職員の採用を計画的に進めるとともに、企業会計等に精通した外部人材の確保に引き続き取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 医事課に診療報酬担当を新設し、診療報酬算定の適確化と効率化を図った。 試験合格及び採用により新たに院内で3名の診療情報管理士を確保した。また、診療情報管理士資格取得のための研修について、すでに受講中の職員4人に加え、新たに3名に受講の支援を行った。 経営管理や人事・労務管理等に関する研修会への参加を積極的に進めた。 <p>【研修参加実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研 修 会 名</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24.5.25</td> <td>経営戦略セミナー</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>H24.9.12</td> <td>人事評価制度の構築セミナー</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>H25.2.15</td> <td>人事・労務セミナー</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>民間企業等での実務経験を持つ人材を対象に事務職員の採用試験を実施した。</p> <p>【事務職員の状況】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>8人</td> <td>20人</td> <td>26人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	研 修 会 名	参加者数	H24.5.25	経営戦略セミナー	1名	H24.9.12	人事評価制度の構築セミナー	1名	H25.2.15	人事・労務セミナー	1名	区分\年度	H22	H23	H24	プロパー職員	8人	20人	26人	III		
開催日	研 修 会 名	参加者数																												
H24.5.25	経営戦略セミナー	1名																												
H24.9.12	人事評価制度の構築セミナー	1名																												
H25.2.15	人事・労務セミナー	1名																												
区分\年度	H22	H23	H24																											
プロパー職員	8人	20人	26人																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
							県派遣職員	23人	15人	10人			
							合計	31人	35人	36人			

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組
 2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善
 2-2-1 多様な契約手法の導入

中期 目標	4-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善 4-2-1 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図るとともに、費用の節減に努めること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
51	民間病院の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法導入により、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図る。具体的には、病院関連委託業務（医療事務、給食、警備、清掃、薬剤、診療材料、寝具、洗濯等）について、「複数年契約」、「包括的業務委託」、「委託業務の集約化」などにより事務合理化及び費用の節減を図る。	IV	III			「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用し、効率的な契約手法や費用について検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用し、医療機器購入価格や医薬品、診療材料契約単価について精査し価格交渉を実施した。 医療機器保守委託について、既存の複数年契約についても価格協議を行い、費用の節減に努めた。 清掃業務を集約化し、業務委託経費を節減した。 	III				

2-2-2 収入の確保

中期 目標	4-2-2 収入の確保 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																	
52	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 平成21年4月1日から本格的に運用の始まったDPC (Diagnosis Procedure Combination の略、診断群分類) は、①医療の質の向上と情報開示、②医療の標準化と透明化、③標準的な治療と価格を患者に明らかにする等を目的に、「1入院あたり人的・物的に医療資源を最も投入した傷病名を」を一つだけ選択し、その傷病名に最も適切な診断群分類のコーディングにより、入院の1日当たりの包括点数が決定され、この包括点数には、主な検査や投薬、処置料が包括されている。</p> <p>よって、医療資源を最も投入した傷病名の選択、診断群分類のコーディング等、効果的な運用及び推進を図るとともに、効率的な検査、投薬等の推進を図り、出来高の活用も図っていく。また、診療科に制限されない効率的な病床管理、医療機器の効率的な活用を図る。</p>	III	III			<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クリニカルパスの効率的な運用及び診療録管理における適切なコーディングの検証を進め、医業収益の向上を図る。 ・ DPCデータを元にした診療情報の活用を進めるとともに、入院診療の効率化を図ることにより効率的な病床運用を進める。 	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クリニカルパスに関連するDPCデータの検証を行った。 ・ これまで業務委託により実施してきたDPCコーディングの検証について、一部を職員で実施することとし、知識向上に努めた。 ・ DPCコーディングについて検証するため、医師を含めた「レセフォローアップ」を開催し、適正なコーディングに努め、収益増に寄与した。(24回開催) ・ 平均在院日数と入院収益の関連について診療報酬委員会、管理会議への報告を行い、入院収益の向上、効率的な医療の推進に努めた。 <p>【病床管理状況の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目 \ 年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率 (%)</td> <td>77.0</td> <td>77.2</td> <td>79.9</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (全体)</td> <td>13.0</td> <td>13.2</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (一般)</td> <td>12.9</td> <td>12.9</td> <td>12.4</td> </tr> <tr> <td>一日当たり外来患者数</td> <td>1,145</td> <td>1,158</td> <td>1,184</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">患者一人当たり 診療報酬</td> <td>入院 (全体)</td> <td>54,931</td> <td>55,134</td> <td>56,795</td> </tr> <tr> <td>入院 (一般)</td> <td>-</td> <td>55,469</td> <td>58,075</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>12,161</td> <td>12,689</td> <td>13,412</td> </tr> </tbody> </table>	項目 \ 年度	H22	H23	H24	病床稼働率 (%)	77.0	77.2	79.9	平均在院日数 (全体)	13.0	13.2	12.9	平均在院日数 (一般)	12.9	12.9	12.4	一日当たり外来患者数	1,145	1,158	1,184	患者一人当たり 診療報酬	入院 (全体)	54,931	55,134	56,795	入院 (一般)	-	55,469	58,075	外来	12,161	12,689	13,412	III		
項目 \ 年度	H22	H23	H24																																								
病床稼働率 (%)	77.0	77.2	79.9																																								
平均在院日数 (全体)	13.0	13.2	12.9																																								
平均在院日数 (一般)	12.9	12.9	12.4																																								
一日当たり外来患者数	1,145	1,158	1,184																																								
患者一人当たり 診療報酬	入院 (全体)	54,931	55,134	56,795																																							
	入院 (一般)	-	55,469	58,075																																							
	外来	12,161	12,689	13,412																																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																		
53	(2) 未収金の発生防止対策等 診療報酬の請求漏れ防止を徹底するために内査の強化を図るとともに、未収金発生時での防止を徹底するために相談窓口の拡充を図る。	III	III			(2) 未収金の発生防止対策等 <ul style="list-style-type: none"> 入院時説明などを通じて発生防止に努めるとともに、未収患者の来院時における督促を行う。 生活困窮者については、入院中からの支払相談を進め、早期の対応を進める。 弁護士事務所への回収委託を継続し、未収金の効率的な回収に努める。 	(2) 未収金の発生防止対策等 <ul style="list-style-type: none"> 入院案内センターの入院時説明において、入院申込書における保証人欄等の確認を徹底した。 生活困窮者については、入院初期の段階に公費負担制度の説明、相談室の案内などを行い、未収金の発生防止に努めた。 弁護士事務所への回収（66件）を委託し、より効果的に回収業務を行った。 平成24年度回収実績：4,124千円 金融機関での勤務経験があり、債権管理に精通した者を未収金業務専門職員として1名配置し、的確な債権の管理、分納制度の活用、定期的な滞納者宅への訪問などにより未収金の回収を進めた。 滞納者宅への訪問をボーナス時期の8月と12月に集中して実施した。（8月：38件、12月：42件） <p>【未収金の発生状況】（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H22</th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>891</td> <td>54,091</td> <td>682</td> <td>39,909</td> <td>650</td> <td>34,988</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>1,115</td> <td>83,877</td> <td>1,888</td> <td>75,823</td> <td>2,051</td> <td>93,821</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,006</td> <td>137,968</td> <td>2,570</td> <td>115,732</td> <td>2,701</td> <td>128,809</td> </tr> </tbody> </table>		H22		H23		H24		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年分	891	54,091	682	39,909	650	34,988	現年分	1,115	83,877	1,888	75,823	2,051	93,821	合計	2,006	137,968	2,570	115,732	2,701	128,809	III		
	H22		H23		H24																																							
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																						
過年分	891	54,091	682	39,909	650	34,988																																						
現年分	1,115	83,877	1,888	75,823	2,051	93,821																																						
合計	2,006	137,968	2,570	115,732	2,701	128,809																																						

2-2-3 費用の削減

中期目標	4-2-3 費用の削減 薬剤・診療材料の購入方法の見直しや在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用などにより費用の節減に努めること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																				
54	(1) 薬品・診療材料の在庫管理を適正に行い院内在庫を必要最小限に抑える。また、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の積極的採用・他病院の契約単価の調査などにより薬品費・診療材料費の節減を図る。	II	III			<p>「病院経営に関するコンサルタント業務」の活用により材料費の節減を図るとともに、効率的な在庫管理体制の確立を検討する。</p> <p>後発医薬品(ジェネリック医薬品)の積極的採用などにより、薬品及び診療材料にかかる費用の節減を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 薬品について、コンサルティングを有効活用し、契約方法について新たな方法を導入して卸業者間の競争を促し、節減を図ることができた。 診療材料について、コンサルティングを有効活用し、年間契約品や新規採用材料費の節減を図った。また、在庫管理体制の確立のために各部署から物流管理システム(SPD)に対する問題点や要望を聞き、更に業者から最近のSPD及びその運用方法を聴取する勉強会を実施した。 <p>【ジェネリック医薬品の使用比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>10.10%</td> <td>13.01%</td> <td>29.21%</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>10.00%</td> <td>9.71%</td> <td>9.99%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医薬収益に対する材料費比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>14.40%</td> <td>14.20%</td> <td>14.08%</td> </tr> <tr> <td>診療料</td> <td>10.50%</td> <td>9.40%</td> <td>9.00%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【薬品費及び診療材料費】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>1,937,995千円</td> <td>1,958,884千円</td> <td>2,071,569千円</td> </tr> <tr> <td>診療料</td> <td>1,423,213千円</td> <td>1,293,587千円</td> <td>1,316,480千円</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	品目ベース	10.10%	13.01%	29.21%	金額ベース	10.00%	9.71%	9.99%	区分\年度	H22	H23	H24	薬品費	14.40%	14.20%	14.08%	診療料	10.50%	9.40%	9.00%	区分\年度	H22	H23	H24	薬品費	1,937,995千円	1,958,884千円	2,071,569千円	診療料	1,423,213千円	1,293,587千円	1,316,480千円	III		
区分\年度	H22	H23	H24																																											
品目ベース	10.10%	13.01%	29.21%																																											
金額ベース	10.00%	9.71%	9.99%																																											
区分\年度	H22	H23	H24																																											
薬品費	14.40%	14.20%	14.08%																																											
診療料	10.50%	9.40%	9.00%																																											
区分\年度	H22	H23	H24																																											
薬品費	1,937,995千円	1,958,884千円	2,071,569千円																																											
診療料	1,423,213千円	1,293,587千円	1,316,480千円																																											

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期 目標	5 財務内容の改善に関する事項
	5-1 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標の期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。
	5-2 職員給与費対医薬収益比率 職員給与費対医薬収益比率については、同規模の全国自治体病院の黒字病院の当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標の期間の最終年度までに達成すること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																																																																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																																																								
55	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。	IV	III			「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。	医療連携の強化による患者数の増加や診療単価の増、平均在院日数の短縮などによる医業収益の増とともに価格交渉や契約方法の見直しなどの経費節減の努力によって、経常収支比率は105.8%、職員給与費対医業収益比率は49.7%と計画を達成した。 【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】	IV																																																																																																																																										
	3-1 予算 (平成22年度～平成26年度) (単位:百万円)					3-1 予算 (平成24年度) (単位:百万円)	3-1 決算 (平成24年度) (単位:百万円)																																																																																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>70,064</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>65,820</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>3,861</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>383</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>538</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>3,719</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>1,493</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>2,226</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>74,321</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>61,624</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>59,682</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>32,189</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>15,890</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>11,213</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>1,942</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	70,064	医業収益	65,820	運営費負担金収益	3,861	その他営業収益	383	営業外収益	538	運営費負担金収益	443	その他営業外収益	95	資本収入	3,719	長期借入金	1,493	運営費負担金	2,226	その他資本収入	0	その他の収入	0	計	74,321	支出		営業費用	61,624	医業費用	59,682	給与費	32,189	材料費	15,890	経費	11,213	研究研修費	390	一般管理費	1,942		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>14,788</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>13,866</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>834</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>1,143</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>705</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>16,045</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>13,502</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>13,129</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>7,084</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>3,522</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>2,451</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>373</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>283</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	14,788	医業収益	13,866	運営費負担金収益	834	その他営業収益	88	営業外収益	114	運営費負担金収益	75	その他営業外収益	39	資本収入	1,143	長期借入金	705	運営費負担金	330	その他資本収入	108	その他の収入	0	計	16,045	支出		営業費用	13,502	医業費用	13,129	給与費	7,084	材料費	3,522	経費	2,451	研究研修費	72	一般管理費	373	給与費	283	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>15,947</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>15,048</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>776</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>1,187</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>717</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>321</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>17,257</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>13,327</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>13,021</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>6,917</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>3,655</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>2,409</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>306</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>251</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	15,947	医業収益	15,048	運営費負担金収益	776	その他営業収益	123	営業外収益	123	運営費負担金収益	75	その他営業外収益	48	資本収入	1,187	長期借入金	717	運営費負担金	321	その他資本収入	149	その他の収入	0	計	17,257	支出		営業費用	13,327	医業費用	13,021	給与費	6,917	材料費	3,655	経費	2,409	研究研修費	40	一般管理費	306	給与費	251
区 分	金 額																																																																																																																																																	
収入																																																																																																																																																		
営業収益	70,064																																																																																																																																																	
医業収益	65,820																																																																																																																																																	
運営費負担金収益	3,861																																																																																																																																																	
その他営業収益	383																																																																																																																																																	
営業外収益	538																																																																																																																																																	
運営費負担金収益	443																																																																																																																																																	
その他営業外収益	95																																																																																																																																																	
資本収入	3,719																																																																																																																																																	
長期借入金	1,493																																																																																																																																																	
運営費負担金	2,226																																																																																																																																																	
その他資本収入	0																																																																																																																																																	
その他の収入	0																																																																																																																																																	
計	74,321																																																																																																																																																	
支出																																																																																																																																																		
営業費用	61,624																																																																																																																																																	
医業費用	59,682																																																																																																																																																	
給与費	32,189																																																																																																																																																	
材料費	15,890																																																																																																																																																	
経費	11,213																																																																																																																																																	
研究研修費	390																																																																																																																																																	
一般管理費	1,942																																																																																																																																																	
区 分	金 額																																																																																																																																																	
収入																																																																																																																																																		
営業収益	14,788																																																																																																																																																	
医業収益	13,866																																																																																																																																																	
運営費負担金収益	834																																																																																																																																																	
その他営業収益	88																																																																																																																																																	
営業外収益	114																																																																																																																																																	
運営費負担金収益	75																																																																																																																																																	
その他営業外収益	39																																																																																																																																																	
資本収入	1,143																																																																																																																																																	
長期借入金	705																																																																																																																																																	
運営費負担金	330																																																																																																																																																	
その他資本収入	108																																																																																																																																																	
その他の収入	0																																																																																																																																																	
計	16,045																																																																																																																																																	
支出																																																																																																																																																		
営業費用	13,502																																																																																																																																																	
医業費用	13,129																																																																																																																																																	
給与費	7,084																																																																																																																																																	
材料費	3,522																																																																																																																																																	
経費	2,451																																																																																																																																																	
研究研修費	72																																																																																																																																																	
一般管理費	373																																																																																																																																																	
給与費	283																																																																																																																																																	
区 分	金 額																																																																																																																																																	
収入																																																																																																																																																		
営業収益	15,947																																																																																																																																																	
医業収益	15,048																																																																																																																																																	
運営費負担金収益	776																																																																																																																																																	
その他営業収益	123																																																																																																																																																	
営業外収益	123																																																																																																																																																	
運営費負担金収益	75																																																																																																																																																	
その他営業外収益	48																																																																																																																																																	
資本収入	1,187																																																																																																																																																	
長期借入金	717																																																																																																																																																	
運営費負担金	321																																																																																																																																																	
その他資本収入	149																																																																																																																																																	
その他の収入	0																																																																																																																																																	
計	17,257																																																																																																																																																	
支出																																																																																																																																																		
営業費用	13,327																																																																																																																																																	
医業費用	13,021																																																																																																																																																	
給与費	6,917																																																																																																																																																	
材料費	3,655																																																																																																																																																	
経費	2,409																																																																																																																																																	
研究研修費	40																																																																																																																																																	
一般管理費	306																																																																																																																																																	
給与費	251																																																																																																																																																	

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証		
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
	給与費	1,457					経費	90		経費	55			
	経費	485					営業外費用	125		営業外費用	126			
	営業外費用	722					資本支出	1,919		資本支出	1,954			
	資本支出	8,654					建設改良費	1,349		建設改良費	1,375			
	建設改良費	4,972					償還金	556		償還金	539			
	償還金	3,624					その他資本支出	14		その他資本支出	40			
	その他資本支出	58					その他の支出	10		その他の支出	0			
	その他の支出	165					計	15,556		計	15,407			
	計	71,165					(注記 略)			(注記 略)				
	(注記 略)													
	3-2 収支計画 (平成22年度~平成26年度) (単位:百万円)						3-2 収支計画 (平成24年度) (単位:百万円)				3-2 収支計画 (平成24年度) (単位:百万円)			
	収益の部	70,530					収益の部	14,887			収益の部	15,733		
	営業収益	69,997					営業収益	14,773			営業収益	15,612		
	医業収益	65,728					医業収益	13,846			医業収益	14,709		
	運営費負担金収益	3,861					運営費負担金収益	834			運営費負担金収益	776		
	資産見返負債戻入	30					資産見返負債戻入	6			資産見返負債戻入	6		
	その他営業収益	378					その他営業収益	87			その他営業収益	121		
	営業外収益	533					営業外収益	114			営業外収益	121		
	運営費負担金収益	443					運営費負担金収益	75			運営費負担金収益	75		
	その他営業外収益	90					その他営業外収益	39			その他営業外収益	46		
	臨時利益	0					臨時利益	0			臨時利益	0		
	費用の部	70,559					費用の部	14,875			費用の部	14,876		
	営業費用	67,758					営業費用	14,408			営業費用	14,406		
	医業費用	65,914					医業費用	14,022			医業費用	14,067		
	給与費	33,854					給与費	7,029			給与費	7,050		
	材料費	15,150					材料費	3,362			材料費	3,488		
	経費	11,061					経費	2,352			経費	2,313		
	減価償却費	5,474					減価償却費	1,210			減価償却費	1,179		
	研究研修費	375					研究研修費	69			研究研修費	37		
	一般管理費	1,844					一般管理費	386			一般管理費	339		
	給与費	1,349					給与費	289			給与費	261		
	減価償却費	50					減価償却費	11			減価償却費	25		
	経費	445					経費	86			経費	53		
	営業外費用	2,636					営業外費用	457			営業外費用	466		

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	臨時損失	115				臨時損失	0	臨時損失	4				
	予備費	50				予備費	10	予備費	0				
	純利益	-29				純利益	12	純利益	857				
	目的積立金取崩額	0				目的積立金取崩額	0	目的積立金取崩額	0				
	総利益	-29				総利益	12	総利益	857				
	3-3 資金計画 (平成22年度～平成26年度) (単位: 百万円)				3-3 資金計画 (平成24年度) (単位: 百万円)				3-3 資金計画 (平成24年度) (単位: 百万円)				
	区 分	金 額				区 分	金 額				区 分	金 額	
	資金収入	76,702				資金収入	20,256				資金収入	21,314	
	業務活動による収入	70,602				業務活動による収入	14,903				業務活動による収入	15,781	
	診療業務による収入	65,820				診療業務による収入	13,866				診療業務による収入	14,545	
	運営費負担金による収入	4,304				運営費負担金による収入	909				運営費負担金による収入	851	
	その他の業務活動による収入	478				その他の業務活動による収入	128				その他の業務活動による収入	385	
	投資活動による収入	2,226				投資活動による収入	438				投資活動による収入	147	
	運営費負担金による収入	2,226				運営費負担金による収入	330				運営費負担金による収入	39	
	その他の投資活動による収入	0				その他の投資活動による収入	108				その他の投資活動による収入	108	
	財務活動による収入	1,493				財務活動による収入	705				財務活動による収入	999	
	長期借入による収入	1,493				長期借入による収入	705				長期借入による収入	717	
	その他の財務活動による収入	0				その他の財務活動による収入	0				その他の財務活動による収入	282	
	前事業年度からの繰越金	2,381				前事業年度からの繰越金	4,210				前事業年度からの繰越金	4,387	
	資金支出	76,702				資金支出	20,256				資金支出	21,314	
	業務活動による支出	62,468				業務活動による支出	13,626				業務活動による支出	13,696	
	給与費支出	33,647				給与費支出	7,367				給与費支出	5,908	
	材料費支出	15,890				材料費支出	3,522				材料費支出	3,671	
	その他の業務活動による支出	12,931				その他の業務活動による支出	2,737				その他の業務活動による支出	4,117	
	投資活動による支出	5,029				投資活動による支出	1,362				投資活動による支出	1,399	
	有形固定資産の取得による支出	4,972				有形固定資産の取得による支出	1,349				有形固定資産の取得による支出	1,359	
	その他の投資活動による支出	57				その他の投資活動による支出	13				その他の投資活動による支出	40	
	財務活動による支出	3,624				財務活動による支出	557				財務活動による支出	539	
	長期借入金の返済による支出	332				長期借入金の返済による支出	51				長期借入金の返済による支出	33	
	前地方債償還額の償還による支出	3,292				前地方債償還額の償還による支出	447				前地方債償還額の償還による支出	447	
	その他財務活動による支出	0				その他財務活動による支出	59				その他財務活動による支出	59	
	翌事業年度への繰越金	5,581				翌事業年度への繰越金	4,711				翌事業年度への繰越金	5,680	

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	4-1 限度額 10億円 4-2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応	/	/	/	/	4-1 限度額 10億円 4-2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応	4-1 限度額 10億円 4-2 想定される短期借入金の発生理由 実績なし	/	/	

5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	なし	/	/	/	/	なし	なし	/	/	

6 剰余金の使途

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	/	/	/	/	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	なし	/	/	

7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

7-1 職員の就労環境の向上

中期目標	6 その他業務運営に関する重要事項
	6-1 職員の就労環境の向上 職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かし、不足している医療従事者（特に看護師）を必要な人数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																												
56	(1) 医療従事者の業務負担を軽減し、本来の業務に専念できるようにするため、必要な人数を迅速に確保することで、病院全体の勤務環境の改善を図る。	III	III			(1) 各診療科の医師に対して要望を確認のうえ、医師事務作業補助者を配置し、医師の業務負担の軽減を図る。	(1) 各診療科の医師の要望に応じ、医師事務作業補助者を配置し、医師の負担軽減に努めた。平成24年7月より30:1の補助体制加算へ移行した。 【医師事務作業補助者等の状況】 (各年度末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>105人</td> <td>99人</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師数</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>392人</td> <td>422人</td> <td>433人</td> </tr> <tr> <td>常勤准看護師数</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助者 (医療ｸﾞﾙｰﾌﾟ)</td> <td>7人</td> <td>16人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>病棟事務補助者 (看護ｸﾞﾙｰﾌﾟ)</td> <td>8人</td> <td>9人</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	常勤医師数	105人	99人	105人	常勤歯科医師数	4人	4人	5人	常勤看護師数	392人	422人	433人	常勤准看護師数	4人	4人	4人	医師事務作業補助者 (医療ｸﾞﾙｰﾌﾟ)	7人	16人	24人	病棟事務補助者 (看護ｸﾞﾙｰﾌﾟ)	8人	9人	11人	III		
区分\年度	H22	H23	H24																																			
常勤医師数	105人	99人	105人																																			
常勤歯科医師数	4人	4人	5人																																			
常勤看護師数	392人	422人	433人																																			
常勤准看護師数	4人	4人	4人																																			
医師事務作業補助者 (医療ｸﾞﾙｰﾌﾟ)	7人	16人	24人																																			
病棟事務補助者 (看護ｸﾞﾙｰﾌﾟ)	8人	9人	11人																																			
57	(2) 育児中の女性職員のために院内保育所の受け入れ体制を強化する。具体的には、保育対象年齢の引き上げ、病後児保育の追加を検討する。また、保育対象年齢引き上げに伴う受け入れ人数増加に対応するため、既存保育施設の増築及び一部改修を進める。さらに時差出勤制度の導入により、仕事と家庭の両立を図る。	III	III			(2) 夜間保育の拡充について、平成23年度に実施した調査をもとに検討する。	(2) 夜間保育の実施に向けて院内保育所に入浴設備を新設し、受け入れ体制を整えた。 【院内保育所の運営状況】 (各年度末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>37人</td> <td>44人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	入所者数	37人	44人	37人	保育士数	10人	9人	8人	III																		
区分\年度	H22	H23	H24																																			
入所者数	37人	44人	37人																																			
保育士数	10人	9人	8人																																			
58	(3) 看護師については、7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努め、必要な職員数を確保し、看護師の就労環境の整備に努める。	III	III			(3) 7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努め、必要な職員数を確保し、看護師の就労環境の整備に努める。 ・ 就職ガイダンスへの参加、学校訪問、高等学校への出前講座に参加する。 ・ 中学生、高校生を対象としたふれあい看護体験	(3) 7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努め、必要な職員数を確保し、看護師の就労環境の整備に努めた。 ・ 就職ガイダンスへの参加、学校訪問、ホームページや新聞紙面等の各種広報媒体を活用した募集活動を実施した。その結果、正規職員では、看護師45名、助産師2名を、非常勤職員では、看護師17名を採用することができた。 ・ 高校生を対象としたふれあい看護体験を2回実施	III																														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項						
						<p>を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事と家庭を両立させるため、育児部分休業の活用を推進する。 	<p>施した。</p> <p>7/30、8/6の2回 参加者101名</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークライフバランスの確立のため、育児部分休業制度の活用を推進し、7名の看護師が採用した。また、看護師の就労環境を改善するため、新規に夜勤専従看護師を1名採用した。 <p>【育児部分休業制度活用人数】</p> <table border="1"> <tr> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> </tr> <tr> <td>5人</td> <td>5人</td> <td>7人</td> </tr> </table>	H22	H23	H24	5人	5人	7人			
H22	H23	H24														
5人	5人	7人														
59	(4) 全職員を対象とした健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実にも努める。	III	III			<p>(4) 全職員を対象とした健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実にも努め、法定健診（定期健康診断、人間ドック）、任意検査等（各種抗体検査、各種予防接種）を実施する。</p> <p>○メンタルヘルス対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期に適切な対応がとれるよう、平成23年度に開設した精神科医師による相談窓口を活用する。 <p>○定期健康診断及び特殊健康診断</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働安全衛生法に基づき、非常勤職員を含む全職員に対して実施する。 要精密検査等の指示のあった者に対して、文書により受診勧告を行う。 <p>○人間ドック</p> <ul style="list-style-type: none"> 30歳代偶数年齢及び40歳以上の正職員のうち希望者に対し実施する。 <p>○肝炎検査</p> <ul style="list-style-type: none"> 肝炎に曝露する可能性のある職場に勤務する職員に対し実施する。 陰性者に対しワクチン接種を行う。 	<p>(4) 全職員を対象とした健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実にも努め、法定健診（定期健康診断、人間ドック）、任意検査等（各種抗体検査、各種予防接種）を実施した。</p> <p>○メンタルヘルス対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年9月より相談窓口を設置した。 各職場における精神疾患の未然防止のため、管理職（看護師長・課長補佐を含む）を対象とした研修会や、全職員を対象とした講演会を実施した。 <p>○定期健康診断及び特殊健康診断</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常勤・業務補助職員含む職員全員に対して毎年5～6月頃に実施。 未受診者には12月にも追加実施を行った。 要精密検査等の指示のあった者に対しては、精密検査受診勧告を行った。 <p>○人間ドック</p> <ul style="list-style-type: none"> 30歳代偶数年齢及び40歳以上の正職員のうち希望者に対して実施。 受診費用については多治見病院と共済組合から助成した。 平成24年度は対象者381名のうち310名が受診した。 <p>○肝炎検査</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年非常勤・業務補助職員含む職員全員に対して実施。 陰性者に対しては病院経費によりワクチン接種を行った。 	III								

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						○麻疹・風疹等4種抗体検査 ・ 新規採用者および転入者に対し実施する。 ○結核検診 ・ 結核菌に暴露する可能性のある職場に勤務する職員に対して結核検診として、定期健康診断とあわせて年2回の胸部X線撮影を行うとともに、年1回の血液検査を行う。	・ ICNの積極的な情報提供・声掛けによりワクチン接種希望者数が大幅に増加した。 ○麻疹・風疹等4種抗体検査 ・ 新規採用者および転入者に対し実施した。 ○結核検診 ・ 結核菌に暴露する可能性のある職場に勤務する職員に対して結核検診として、定期健康診断とあわせて年2回の胸部X線撮影を行うとともに、年1回の血液検査を行った。			

7-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項

中期 目標	6-2 県及び他の地方独立行政法人との連携 人事交流など、県及び県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																
60	医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	III	III			医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	・ 県及び3法人間の人事交流を推進した。 【職員の他法人への出向状況】 <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>7人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> (派遣先、職種別内訳) <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th>派遣先</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂温泉病院</td> <td>臨床検査技師 1名</td> </tr> </tbody> </table> 【他法人職員の受入状況】 <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	医師	0人	0人	0人	コメディカル	7人	3人	1人	合計	7人	3人	1人	派遣先	人数及び職員の内訳	下呂温泉病院	臨床検査技師 1名	区分\年度	H22	H23	H24	医師	0人	0人	0人	看護師	2人	2人	1人	III		
区分\年度	H22	H23	H24																																							
医師	0人	0人	0人																																							
コメディカル	7人	3人	1人																																							
合計	7人	3人	1人																																							
派遣先	人数及び職員の内訳																																									
下呂温泉病院	臨床検査技師 1名																																									
区分\年度	H22	H23	H24																																							
医師	0人	0人	0人																																							
看護師	2人	2人	1人																																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																											
						<table border="1"> <tr> <td>コメディカル</td> <td>6人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8人</td> <td>5人</td> <td>2人</td> </tr> </table> <p>(派遣元、職種別内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣元</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県総合医療センター</td> <td>薬剤師 1名</td> </tr> <tr> <td>下呂温泉病院</td> <td>看護師 1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【県からの派遣状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>23人</td> <td>15人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25人</td> <td>17人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>	コメディカル	6人	3人	1人	合計	8人	5人	2人	派遣元	人数及び職員の内訳	岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名	下呂温泉病院	看護師 1名	区分\年度	H22	H23	H24	医師	2人	2人	1人	事務	23人	15人	11人	合計	25人	17人	12人			
コメディカル	6人	3人	1人																																				
合計	8人	5人	2人																																				
派遣元	人数及び職員の内訳																																						
岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名																																						
下呂温泉病院	看護師 1名																																						
区分\年度	H22	H23	H24																																				
医師	2人	2人	1人																																				
事務	23人	15人	11人																																				
合計	25人	17人	12人																																				

7-3 医療機器・施設整備に関する事項

中期目標	6-3 医療器械・施設整備 医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展など総合的に勘案して計画的に実施すること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項						
61	(1) 中期目標の期間における医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断して着実に実施する。	III	III			<ul style="list-style-type: none"> 医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめて、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、新規購入や更新を計画的に進める。 正面玄関ロビーを「明るく」「清潔・安心」で「あたたかい」空間にイメージチェンジするための改修工事を行う。 <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額			<ul style="list-style-type: none"> 医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめて、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、購入を実施した 高精度放射線治療システム（ノバリスTx）を設置し、12月から運用を開始した。 正面玄関ロビーの改修工事は、木材を豊富に使用し、明るさとともに和みのある空間にイメージチェンジした。 昨年度から工事に着手していた高精度放射線治療センター建築工事を完了した。 <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額			III		
区分	金額																	
区分	金額																	

項目 No.	中期計画			過年度の検証結果				H24 年度計画			年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
				H22	H23	H24	H25	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項		
	の内容	位:百万円)						医療機器等整備	1,001	医療機器等整備	1,098			
	病院施設、医療機器等整備	4,972	設立団体からの 長期借入金等					施設等整備	348	施設等整備	212			
								計	1,349	計	1,310			

7-4 法人が負担する債務の償還に関する事項

中期 目標	6-4 法人が負担する債務の償還に関する事項 法人は、岐阜県に対し、地方独立行政法人法第66条第1項に規定する地方債のうち、法人成立の日までに償還されていないものに相当する額の債務を負担すること。 また、その債務の処理を確実にすること。
----------	--

項目 No.	中期計画			過年度の検証結果				H24 年度計画			年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																				
				H22	H23	H24	H25	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																					
62	法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に 行っていく。 (単位:百万円)			III	III			法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に 行う。		企業債平成24年度償還額(元本) 9月 1億6千6百万円 3月 3億1千5百万円 計 4億8千1百万円	III																						
	区分	中期目標期 間償還額	次期以降 償還額	総債務償 還額						【債務の償還状況(合計)】 (単位:百万円)																							
	移行前地方 債償還債務	3,292	3,232	6,524						<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年</td> <td>932</td> <td>932</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>895</td> <td>861</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>481</td> <td>558</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td></td> <td>668</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td></td> <td>605</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>3,624</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	計画	22年	932	932	23年	895	861	24年	481	558	25年		668	26年		605	中期計画期間計		3,624		
年度	実績	計画																															
22年	932	932																															
23年	895	861																															
24年	481	558																															
25年		668																															
26年		605																															
中期計画期間計		3,624																															
	長期借入金 償還額	332	1,161	1,493						(内訳) 移行前地方債償還債務 (単位:百万円)																							
										<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年</td> <td>932</td> <td>932</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>861</td> <td>861</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	計画	22年	932	932	23年	861	861														
年度	実績	計画																															
22年	932	932																															
23年	861	861																															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																			
						<table border="1"> <tr> <td>24 年</td> <td>4 4 7</td> <td>4 4 7</td> </tr> <tr> <td>25 年</td> <td></td> <td>5 5 7</td> </tr> <tr> <td>26 年</td> <td></td> <td>4 9 5</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>3, 2 9 2</td> </tr> <tr> <td colspan="3">長期借入金償還額 (単位：百万円)</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>実績</td> <td>計画</td> </tr> <tr> <td>22 年</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>23 年</td> <td>3 4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>24 年</td> <td>3 4</td> <td>1 1 1</td> </tr> <tr> <td>25 年</td> <td></td> <td>1 1 1</td> </tr> <tr> <td>26 年</td> <td></td> <td>1 1 0</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>3 3 2</td> </tr> </table>	24 年	4 4 7	4 4 7	25 年		5 5 7	26 年		4 9 5	中期計画期間計		3, 2 9 2	長期借入金償還額 (単位：百万円)			年度	実績	計画	22 年		0	23 年	3 4	0	24 年	3 4	1 1 1	25 年		1 1 1	26 年		1 1 0	中期計画期間計		3 3 2			<ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療システム（ノバリス Tx）を平成23年度に購入し、翌平成24年度から償還を開始する予定であったが、治療センター建築の工期延長の影響で平成24年度の購入となった。それに伴い償還の開始も平成25年度からとなり、平成24年度の長期借入金償還実績が計画を下回る結果となった。 法人として岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行った。
24 年	4 4 7	4 4 7																																											
25 年		5 5 7																																											
26 年		4 9 5																																											
中期計画期間計		3, 2 9 2																																											
長期借入金償還額 (単位：百万円)																																													
年度	実績	計画																																											
22 年		0																																											
23 年	3 4	0																																											
24 年	3 4	1 1 1																																											
25 年		1 1 1																																											
26 年		1 1 0																																											
中期計画期間計		3 3 2																																											